

令和 7 年度版

事業概要

(令和 6 年度 事業実績)

埼玉県熊谷保健所

目 次

埼玉県熊谷保健所の概要

1 沿革	1
2 所管区域の特徴	1
3 組織	3
4 業務	3
5 人口	5
(1) 管内人口の年次推移	5
(2) 管内の年齢階級別人口	6

令和6年度事業の概要

I 地域保健医療計画	1 3
1 計画の概要	1 3
2 計画の推進	1 3
(1) 埼玉県北部地域医療構想調整会議	1 3
(2) 埼玉県北部地域保健医療協議会	1 4
II 生涯を通じた健康づくり体制の確立	1 5
1 健康づくりの推進	1 5
(1) 健康増進（専門的栄養指導、給食施設指導等）	1 5
(2) 国民健康栄養調査	1 6
(3) 食育推進事業	1 6
(4) 食品表示法に基づく食品の表示指導	1 7
(5) 健康づくり協力店制度の普及	1 7
(6) 地域・職域連携推進事業	1 7
(7) 受動喫煙防止対策	2 0
(8) 栄養士・調理師養成施設の指導	2 0
2 歯科保健の推進	2 1
3 母と子の健康を守るために	2 2
(1) 結核児童療育医療給付	2 2
(2) 小児慢性特定疾病医療費助成	2 2
(3) 虐待予防の視点に立った母子保健事業	2 3
(4) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業	2 4
(5) 母子保健体制強化事業	2 4
4 心の健康を守るために	2 6
(1) 心の健康相談	2 6
(2) 精神障害者の医療等の状況	2 6
(3) ひきこもり対策事業	2 7
(4) 埼玉県措置入院者退院後支援事業	2 7
(5) 精神障害者を地域で支えるシステム構築事業	2 7
(6) 県北保健所ブロック会議	2 9
(7) 市町等関係機関との連携	2 9

5 難病患者のQOL（生活の質）を向上するために	30
(1) 指定難病医療給付事業	30
(2) 在宅難病患者支援事業	34
(3) 原子爆弾被爆者援護事業	36
(4) 石綿健康被害救済給付業務	36
6 感染症を予防するために	37
(1) 感染症予防	37
(2) エイズ及びその他の性感染症予防	39
(3) 肝炎治療特別促進事業	41
(4) 結核対策	41
7 現任教育	44
(1) 県・市町村保健師連絡調整会議（地域別会議）	44
(2) 熊谷保健所新任期保健師研修会	44
(3) 抱点保健所における人材育成研修会	44
(4) 健康危機に備えた地域保健活動	45
III 安心して暮らすための医療の充実	48
1 医療提供体制の整備	48
(1) 医療施設数	48
(2) 病床数	48
(3) 医療従事者数	48
(4) 医療安全研修会の実施	49
(5) 医療安全相談	49
2 免許事務処理状況	50
3 熊谷・深谷地区の救急医療体制	51
(1) 救急医療体制	51
(2) 熊谷・深谷地区救急医療対策協議会	52
(3) 小児救急医療支援事業	52
(4) 小児二次救急医療担当医会議	52
(5) 熊谷・深谷・児玉地区市町小児救急医療支援事業担当課長会議	53
4 健康危機管理体制の整備	53
(1) 広域的な健康危機管理訓練の実施	53
(2) 防災行政無線の通信訓練	53
(3) 衛星携帯電話等の通信訓練	53
(4) アクションカードによる所内訓練	54
(5) E M I S 入力訓練	54
(6) 北部保健医療圏地域災害保健医療調整会議	54
5 学生実習、医師・歯科医師臨床研修	54
(1) 看護学生実習の受入れ	54
(2) 管理栄養士学生実習の受入れ	55

(3) 医学部学生実習の受入れ	55
(4) 臨床研修医の受入れ	55
6 医薬品・血液を安定供給するために	56
(1) 薬事・麻薬関係施設数等	56
(2) 献血状況	57
IV 衛生的で安全な生活環境の確保	58
1 安全な食品を提供するために	58
(1) 旧食品衛生法（令和3年6月1日改正前の食品衛生法）に基づく営業施設	58
(2) 改正食品衛生法（以下、新法）に基づく営業施設	59
(3) 新法届出施設等（新法第57条に基づく届出）	60
(4) 食中毒発生状況	60
(5) 食中毒予防対策	60
(6) 食品監視・検査業務概況	61
(7) 違反食品などの発見、処理件数	62
2 安全で良質な水を供給するために	63
3 衛生的な生活環境を確保するために	63
4 人と動物が共生する社会づくりを進めるために	64
(1) 犬の登録、狂犬病予防注射及び苦情などの状況	64
(2) 抑留犬・収容犬の状況	64
(3) 特定動物（危険な動物）飼養状況	64
(4) 動物取扱業登録施設数	64

参考資料

○ 人口動態統計	67
○ 関係機関・団体、協議会委員等	83
○ 熊谷保健所健康相談等日程表	92

埼玉県熊谷保健所の概要

1 沿革

- ・昭和19年10月1日 熊谷保健所開設（熊谷市熊谷1125-1）所管区域1市3町30村（当時）
- ・昭和26年12月7日 熊谷市石原1825に新庁舎竣工
- ・昭和29年7月1日 寄居保健所新設 寄居町など1町7村移管
- ・昭和43年4月1日 深谷保健所新設 深谷市など1市1町1村移管
- ・昭和46年10月26日 熊谷地方庁舎新築に伴い、庁舎2階に移転（熊谷市熊谷861）
- ・昭和51年9月1日 公害監視室を新設 9保健所管内の44市町村を所管
- ・昭和52年4月1日 春日部保健所公害監視室新設に伴い、公害監視室の所管区域は6保健所管内27市町村となる。
- ・昭和54年4月1日 深谷保健所食品監視室、試験検査室新設に伴い、食品監視及び試験検査部門を移管
- ・昭和62年4月1日 北部環境管理事務所新設に伴い、公害監視室を移管
- ・平成9年4月1日 保健・医療と福祉の連携のため、大里福祉保健総合センターが設置された。
寄居保健所が廃止され、熊谷保健所寄居支所となる。
- ・平成11年4月1日 大里福祉保健総合センターに福祉事務所が統合され、保健所がセンター内の機関に位置づけられた。
- ・平成18年4月1日 深谷保健所が熊谷保健所に統合され、深谷分室となった。
寄居支所は寄居分室となった。
食品監視担当は、秩父・本庄・熊谷・加須の4保健所管内を所管する。
- ・平成22年4月1日 福祉保健総合センター・保健所統合再編にともない、大里福祉保健総合センターを廃止し、熊谷保健所と北部福祉事務所に再編された。深谷分室、寄居分室は廃止された。
広域的な総合調整を行う拠点保健所として広域調整担当を置き、熊谷・鴻巣・本庄・秩父の4保健所管内を所管とされた。
食品監視担当の所管区域は熊谷・鴻巣・本庄・秩父の4保健所管内となった。

2 所管区域の特徴

熊谷保健所の所管区域は、熊谷市、深谷市、大里郡寄居町の2市1町で、県北地域のほぼ中央に位置している。区域面積は362.44km²である。（県統計年鑑より）

また、広域調整担当及び食品監視担当は、熊谷・鴻巣・本庄・秩父の4保健所を所管している。

交通網は、ほぼ南北に関越自動車道、国道17号線、254号線、407号線が通り、東西に国道140号線、125号線が通り、基幹的な交通網を形成している。

鉄道は、上越・北陸新幹線が熊谷駅に停車し、JR高崎線、JR八高線、秩父鉄道が通るほか、東武東上線が寄居駅まで乗り入れている。

所管区域は、JR高崎線沿線を中心に発展し、特に熊谷市は交通の要衝として古くから行政機能や商業施設が集積し、深谷市も商工業の集積が進んでいる。また、恵まれた気候・風土から、区域内では農業も盛んで、田園風景が残っている。

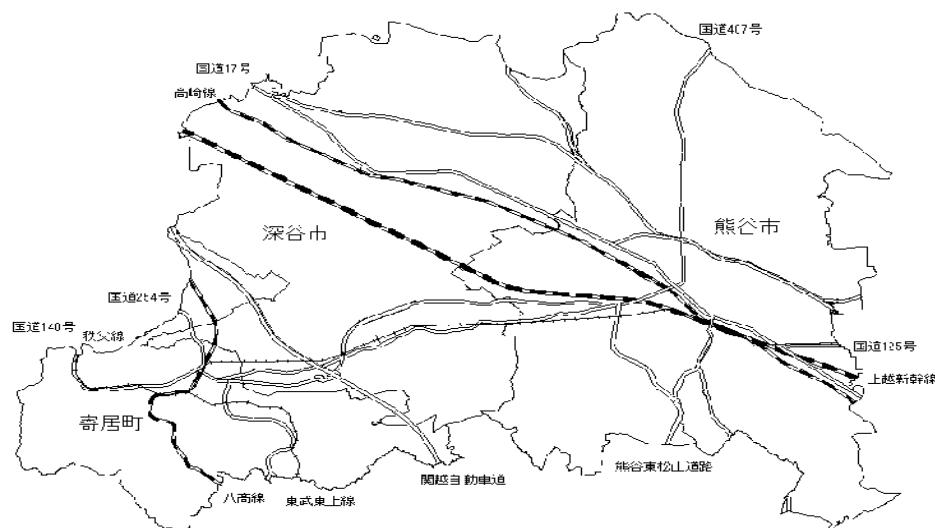
近年は、人口の緩やかな減少が続いている一方で、高齢者人口は増加しており、管内の高齢化率は31.1%、県の平均27.0%を上回っている。今後もこの傾向は続くものと見込まれる。

管内の人口は363,434人（R7.1.1現在）、各市町人口は、次表のとおりである。

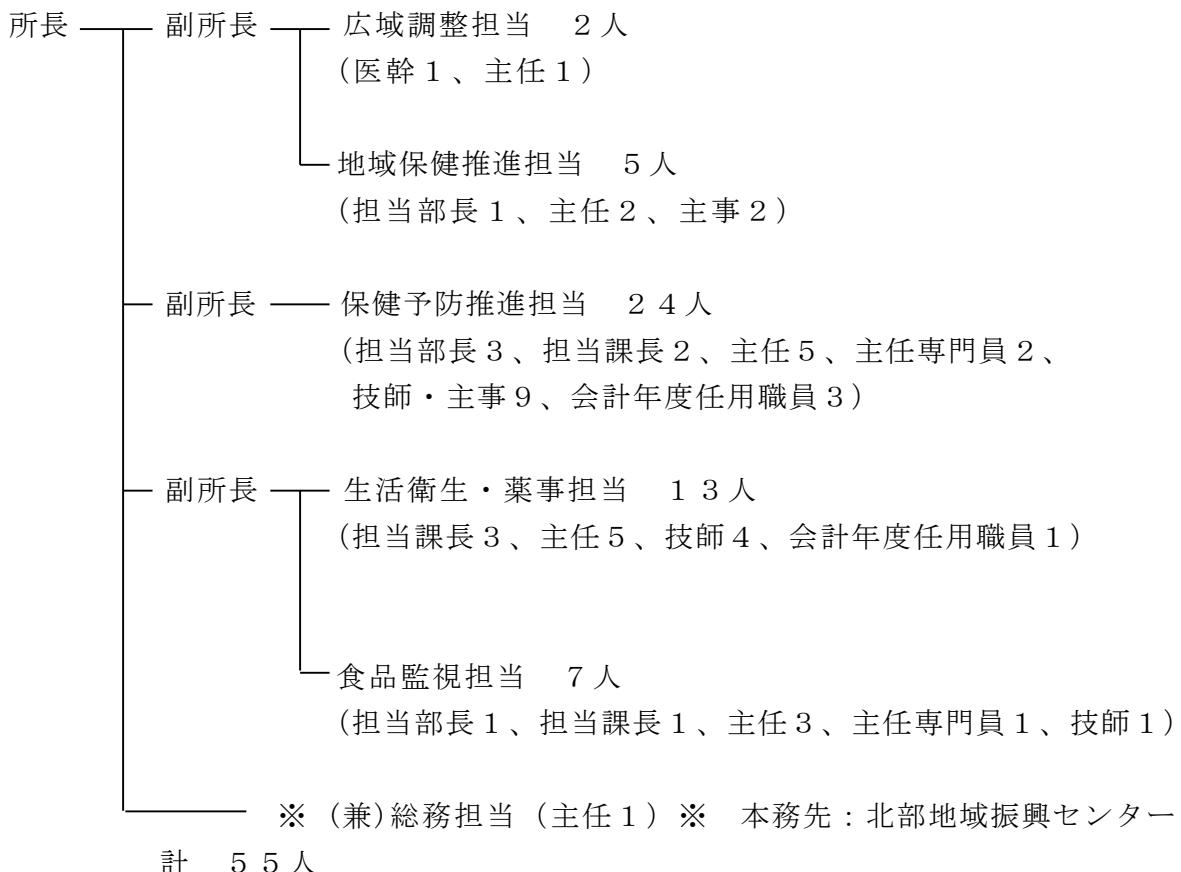
（「埼玉県町（丁）字別人口調査」による。）

	熊谷市	深谷市	寄居町	管 内
R7.1.1	190,950人	140,809人	31,675人	363,434人

熊谷保健所管内図



3 組織（令和7年4月1日現在現員）



職種別現員状況（令和7年4月1日現在）

職種	医 師	薬剤師	獣医師	保健師	管 理 栄養士	精神保健 福祉指導職	動 物 愛護職	一 般 行 政	会計年 度任用
人数	2	11	8	16	2	3	1	8	4

4 業務

○広域調整担当

- ・健康危機管理に係る情報等の収集、分析及び提供
- ・健康危機管理の広域的な体制整備
- ・地域保健医療計画に基づく医師確保対策並びに保健所の所管区域をまたがる救急医療や地域医療連携など医療提供体制の整備に係る調整
- ・保健所の医事業務に対する支援及び医務担当者への専門的教育
- ・保健所が実施する医療機関への立入検査への支援
- ・福祉事務所等関係機関との定例的な連絡調整体制の確保
- ・その他、各保健所の所管区域をまたがる広域的な連絡調整

○地域保健推進担当

- ・地域保健（医務）に関する市町支援の企画・調整
- ・地域保健医療計画の推進及び圏域別取組の調整並びに医療提供体制整備の推進
- ・救急医療機関の認定申出及び管内の救急医療に関する調整等
- ・病院等の許可・届出、立入検査、医療安全相談等の医務に関する事務
- ・人口動態統計その他地域保健に関する統計・調査

- ・保健・医療・福祉に関する情報等の収集、分析等
- ・衛生関係免許事務
- ・広聴広報の調整
- ・臨床研修医、臨床研修歯科医の研修及び学生実習の受入れの調整
- ・地域振興センターとの総務事務に関する連絡調整

○保健予防推進担当

- ・健康づくりの推進
- ・特定給食施設の届出、栄養管理に関する指導
- ・食品栄養成分表示等に関する指導
- ・歯科保健
- ・専門的母子保健
- ・精神保健相談
- ・難病対策、原爆被爆者の援護
- ・指定難病、小児慢性疾患、肝炎治療費等に関する医療給付
- ・結核・感染症対策
- ・エイズ検査・相談
- ・市町村事業に対する専門的、技能的支援
- ・地域におけるケア・コーディネーション機能の充実強化
- ・難病等在宅療養者に関するソーシャルキャピタルの醸成
- ・受動喫煙対策実施に係る届出・指導

○生活衛生・薬事担当

- ・食品営業許可、食品営業施設等の監視・指導
- ・食中毒予防、食中毒疑い調査及び原因施設の行政処分
- ・理容所・美容所・クリーニング所の確認検査、監視・指導
- ・旅館・公衆浴場等の営業許可、監視・指導
- ・特定建築物の届出、建築物事業の登録、監視・指導
- ・薬局等の許可、医薬品等の適正使用
- ・麻薬、覚醒剤、大麻等の薬物乱用防止
- ・献血思想の普及
- ・毒物劇物営業者等の登録、届出、監視・指導
- ・狂犬病予防、犬の捕獲・適正飼養指導
- ・特定動物の許可、監視・指導
- ・動物取扱業の登録、監視・指導
- ・水道事業の認可、水道施設の監視・指導、水質検査
- ・衛生教育

○食品監視担当

- ・営業施設等の専門的な監視及び指導
- ・営業者等からの報告の徴収
- ・営業施設等の立入検査
- ・食品等の収去
- ・営業停止等の行政処分（食中毒関係を除く）
- ・食品関係営業者等の衛生教育の実施

5 人口

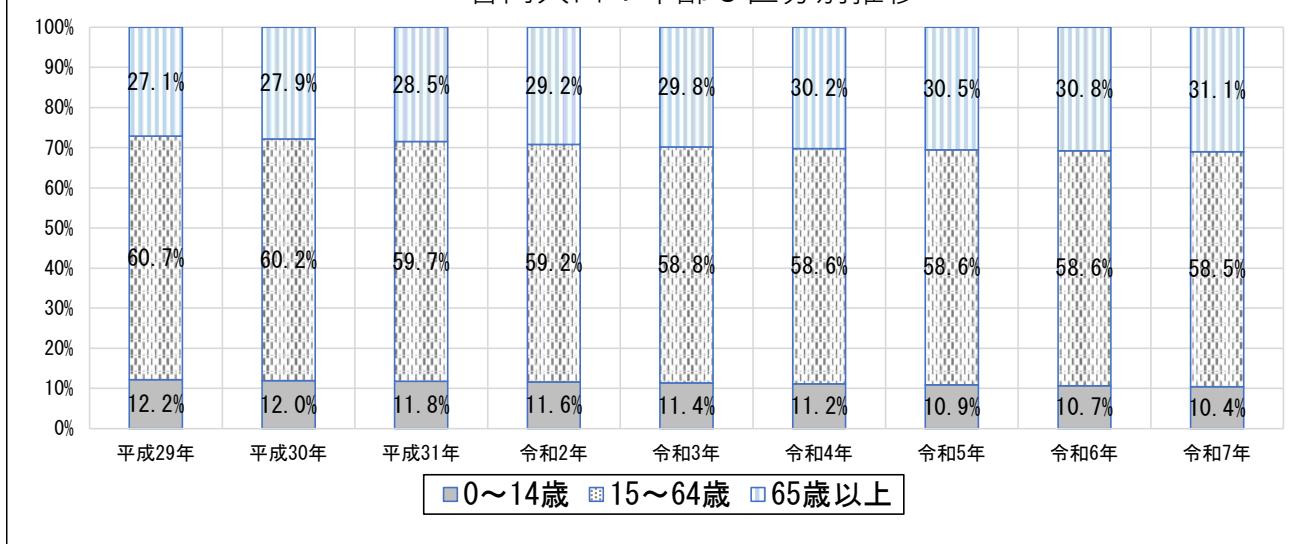
(1) 管内人口の年次推移

(単位:人, %)

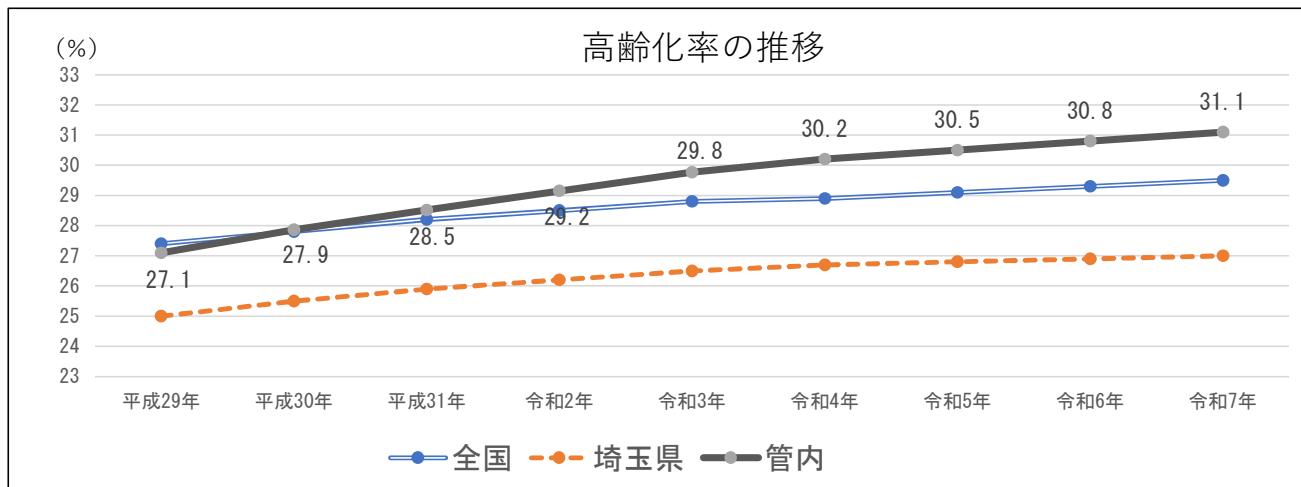
	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
埼玉県	7,343,733	7,362,941	7,377,199	7,389,961	7,393,780	7,385,819	7,381,007	7,378,619	7,374,298
管 内	378,866	377,278	375,117	373,390	371,128	368,790	367,050	365,534	363,434
熊谷市	199,705	198,824	197,731	196,829	195,410	193,820	193,132	192,074	190,950
深谷市	144,696	144,375	143,675	143,219	142,803	142,383	141,681	141,419	140,809
寄居町	34,465	34,079	33,711	33,342	32,915	32,587	32,237	32,041	31,675
0~14歳	46,147	45,241	44,154	43,426	42,271	41,215	40,092	38,996	37,888
15~64歳	230,040	226,920	223,982	221,258	218,366	216,093	215,020	214,018	212,661
65歳以上	102,679	105,117	106,981	108,886	110,491	111,482	111,938	112,520	112,885
高齢化率	27.1	27.9	28.5	29.2	29.8	30.2	30.5	30.8	31.1

※資料:埼玉県町(丁)字別人口調査結果報告(各年1月1日現在)

管内人口の年齢3区分別推移



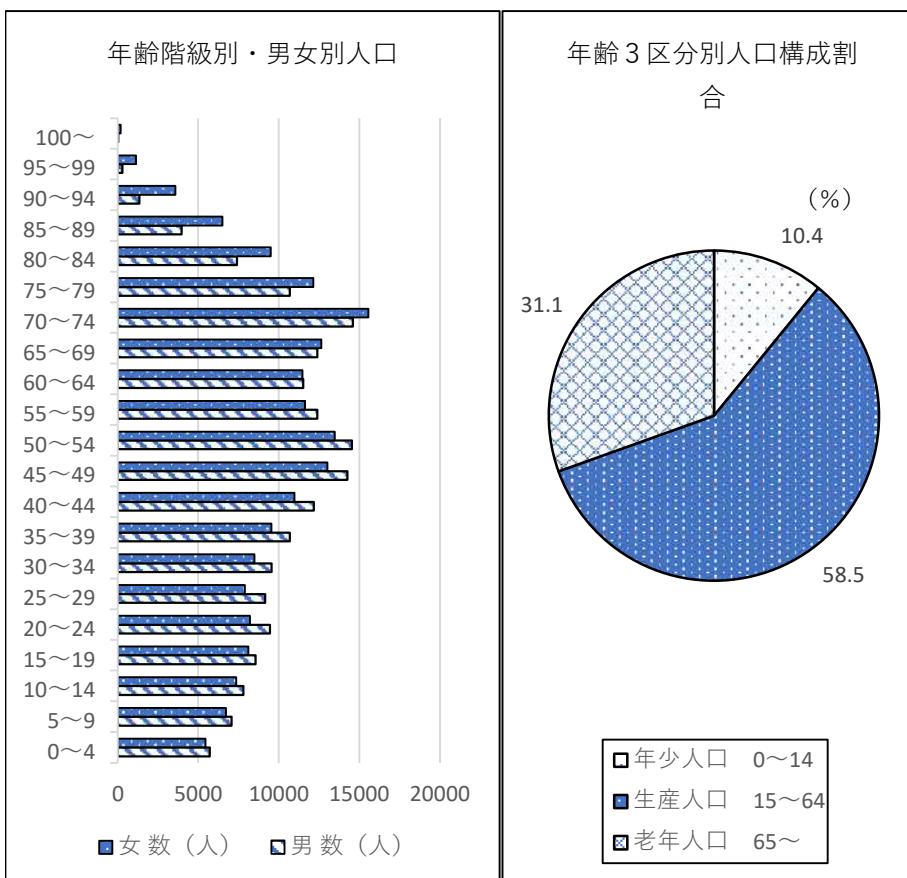
高齢化率の推移



(2)管内の年齢階級別人口

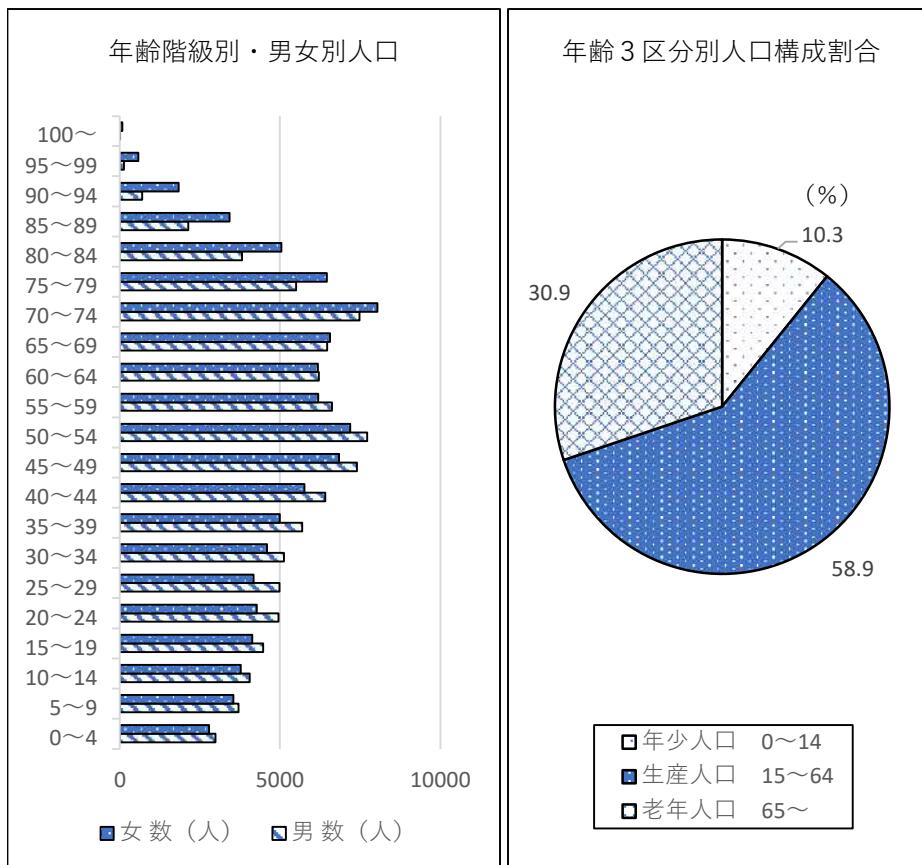
ア 管内

年齢	総 数		男		女	
	数(人)	割合(%)	数(人)	割合(%)	数(人)	割合(%)
合計	363,434	100	181,774	100	181,660	100
0~4	10,290	2.8	5,277	2.9	5,013	2.8
5~9	13,018	3.6	6,723	3.7	6,295	3.5
10~14	14,580	4.0	7,457	4.1	7,123	3.9
15~19	16,339	4.5	8,407	4.6	7,932	4.4
20~24	17,649	4.9	9,405	5.2	8,244	4.5
25~29	17,102	4.7	9,218	5.1	7,884	4.3
30~34	17,627	4.9	9,364	5.2	8,263	4.5
35~39	19,545	5.4	10,517	5.8	9,028	5.0
40~44	21,931	6.0	11,429	6.3	10,502	5.8
45~49	25,318	7.0	13,367	7.4	11,951	6.6
50~54	29,253	8.0	15,222	8.4	14,031	7.7
55~59	25,000	6.9	12,868	7.1	12,132	6.7
60~64	22,897	6.3	11,553	6.4	11,344	6.2
65~69	23,635	6.5	11,673	6.4	11,962	6.6
70~74	27,150	7.5	13,086	7.2	14,064	7.7
75~79	25,663	7.1	12,128	6.7	13,535	7.5
80~84	18,685	5.1	8,123	4.5	10,562	5.8
85~89	10,878	3.0	4,166	2.3	6,712	3.7
90~94	5,131	1.4	1,482	0.8	3,649	2.0
95~99	1,505	0.4	285	0.2	1,220	0.7
100~	238	0.1	24	0.0	214	0.1
年少人口 0~14	37,888	10.4	19,457	10.7	18,431	10.1
生産人口 15~64	212,661	58.5	111,350	61.3	101,311	55.8
老年人口 65~	112,885	31.1	50,967	28.0	61,918	34.1



イ 熊谷市

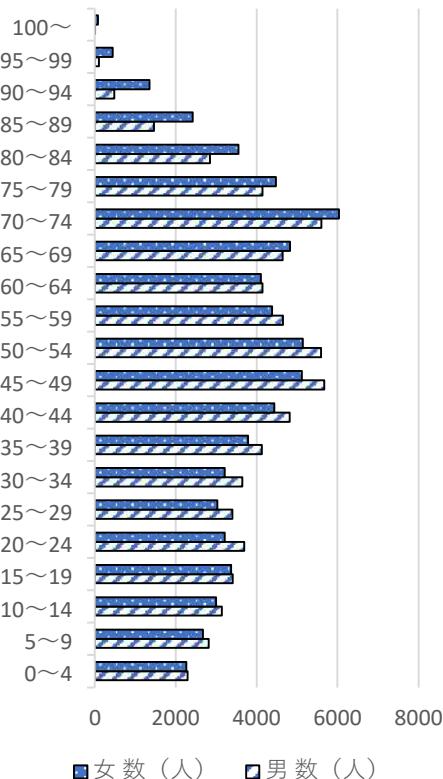
年齢	総数		男		女	
	数(人)	割合(%)	数(人)	割合(%)	数(人)	割合(%)
合計	190,950	100	95,610	100	95,340	100
0~4	5,265	2.8	2,729	2.9	2,536	2.7
5~9	6,800	3.6	3,514	3.7	3,286	3.4
10~14	7,562	4.0	3,892	4.1	3,670	3.8
15~19	8,477	4.4	4,411	4.6	4,066	4.3
20~24	9,305	4.9	5,013	5.2	4,292	4.5
25~29	9,186	4.8	4,994	5.2	4,192	4.4
30~34	9,381	4.9	5,013	5.2	4,368	4.6
35~39	10,353	5.4	5,571	5.8	4,782	5.0
40~44	11,574	6.1	6,066	6.3	5,508	5.8
45~49	13,257	6.9	6,966	7.3	6,291	6.6
50~54	15,315	8.0	7,938	8.3	7,377	7.7
55~59	13,269	6.9	6,878	7.2	6,391	6.7
60~64	12,296	6.4	6,207	6.5	6,089	6.4
65~69	12,557	6.6	6,181	6.5	6,376	6.7
70~74	13,940	7.3	6,704	7.0	7,236	7.6
75~79	13,401	7.0	6,265	6.6	7,136	7.5
80~84	9,733	5.1	4,140	4.3	5,593	5.9
85~89	5,750	3.0	2,200	2.3	3,550	3.7
90~94	2,668	1.4	775	0.8	1,893	2.0
95~99	748	0.4	140	0.1	608	0.6
100~	113	0.1	13	0.0	100	0.1
年少人口 0~14	19,627	10.3	10,135	10.6	9,492	10.0
生産人口 15~64	112,413	58.9	59,057	61.8	53,356	56.0
老年人口 65~	58,910	30.9	26,418	27.6	32,492	34.1



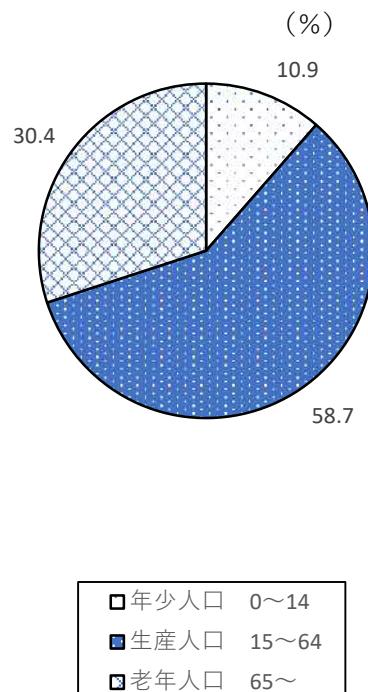
ウ 深谷市

年齢	総数		男		女	
	数(人)	割合(%)	数(人)	割合(%)	数(人)	割合(%)
合計	140,809	100.0	70,407	100	70,402	100
0~4	4,249	2.8	2,143	3.0	2,106	3.0
5~9	5,255	3.7	2,709	3.8	2,546	3.6
10~14	5,889	4.2	2,999	4.3	2,890	4.1
15~19	6,600	4.7	3,344	4.7	3,256	4.6
20~24	6,906	4.9	3,635	5.2	3,271	4.6
25~29	6,553	4.7	3,520	5.0	3,033	4.3
30~34	6,764	4.8	3,573	5.1	3,191	4.5
35~39	7,638	5.4	4,101	5.8	3,537	5.0
40~44	8,680	6.2	4,458	6.3	4,222	6.0
45~49	10,089	7.2	5,346	7.6	4,743	6.7
50~54	11,468	8.1	6,010	8.5	5,458	7.8
55~59	9,547	6.8	4,874	6.9	4,673	6.6
60~64	8,369	5.9	4,255	6.0	4,114	5.8
65~69	8,691	6.2	4,280	6.1	4,411	6.3
70~74	10,514	7.5	5,056	7.2	5,458	7.8
75~79	9,767	6.9	4,667	6.6	5,100	7.2
80~84	7,161	5.1	3,203	4.5	3,958	5.6
85~89	4,055	2.9	1,553	2.2	2,502	3.6
90~94	1,941	1.4	565	0.8	1,376	2.0
95~99	584	0.4	109	0.2	475	0.7
100~	89	0.1	7	0.0	82	0.1
年少人口 0~14	15,393	10.9	7,851	11.2	7,542	10.7
生産人口 15~64	82,614	58.7	43,116	61.2	39,498	56.1
老年人口 65~	42,802	30.4	19,440	27.6	23,362	33.2

年齢階級別・男女別人口

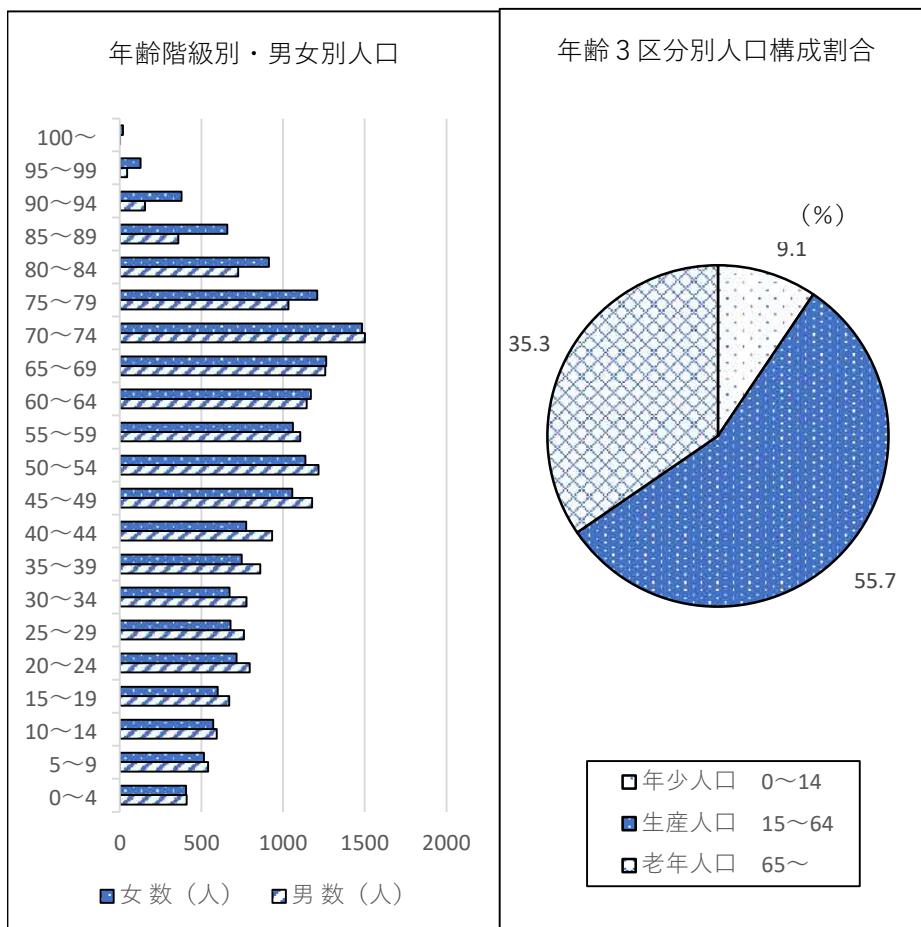


年齢3区分別人口構成割合



工 寄居町

年齢	総数		男		女	
	数(人)	割合(%)	数(人)	割合(%)	数(人)	割合(%)
合計	31,675	100	15,757	100	15,918	100
0~4	776	2.4	405	2.6	371	2.3
5~9	963	3.0	500	3.2	463	2.9
10~14	1,129	3.6	566	3.6	563	3.5
15~19	1,262	4.0	652	4.1	610	3.8
20~24	1,438	4.5	757	4.8	681	4.3
25~29	1,363	4.3	704	4.5	659	4.1
30~34	1,482	4.7	778	4.9	704	4.4
35~39	1,554	4.9	845	5.4	709	4.5
40~44	1,677	5.3	905	5.7	772	4.8
45~49	1,972	6.2	1,055	6.7	917	5.8
50~54	2,470	7.8	1,274	8.1	1,196	7.5
55~59	2,184	6.9	1,116	7.1	1,068	6.7
60~64	2,232	7.0	1,091	6.9	1,141	7.2
65~69	2,387	7.5	1,212	7.7	1,175	7.4
70~74	2,696	8.5	1,326	8.4	1,370	8.6
75~79	2,495	7.9	1,196	7.6	1,299	8.2
80~84	1,791	5.7	780	5.0	1,011	6.4
85~89	1,073	3.4	413	2.6	660	4.1
90~94	522	1.6	142	0.9	380	2.4
95~99	173	0.5	36	0.2	137	0.9
100~	36	0.1	4	0.0	32	0.2
年少人口 0~14	2,868	9.1	1,471	9.3	1,397	8.8
生産人口 15~64	17,634	55.7	9,177	58.2	8,457	53.1
老年人口 65~	11,173	35.3	5,109	32.4	6,064	38.1



令和 6 年度

事 業 の 概 要

I 地域保健医療計画

1 計画の概要

埼玉県地域保健医療計画は、医療法第30条の4第1項の規定に基づく医療計画として策定されるものである。本県では、昭和62年度に第1次計画を策定した。現在の計画は第8次計画で、計画期間は令和6年度（2024年度）から令和11年度（2029年度）までの6か年である。

県の総合計画である「ゆとりとチャンスの埼玉プラン」地域別計画が策定されたことから、整合性を図るため二次保健医療圏の見直しが行われ、平成22年4月から当保健所管内は本庄保健所管内とともに北部保健医療圏に属することとなった。

北部保健医療圏において、この計画に係る「圏域別取組」を定め、親と子の保健対策、在宅医療（在宅歯科診療を含む）、精神疾患医療、健康増進・生活習慣病等予防対策、健康危機管理体制の整備充実を「圏域別取組」としている。

また、医療法第30条の4第2項第7号の規定に基づき、埼玉県地域保健医療計画の一部として、将来の医療提供体制に関する構想を定めた埼玉県地域医療構想を平成28年に策定した。この地域医療構想は、現在の第8次地域保健医療計画に引き続き位置付けられている。

2 計画の推進

本計画を推進するために設置された、埼玉県北部地域保健医療・地域医療構想協議会について、限られた時間でより活発な議論を推進するため令和4年度から地域医療構想に関する協議を行う埼玉県北部地域医療構想調整会議と地域保健医療計画に関する協議を行う埼玉県北部地域保健医療協議会とに分離し、計画の推進に係る各実施団体の取組、必要な調整等について協議を行っている。

（1）埼玉県北部地域医療構想調整会議

日時・場所	内 容	出席委員数
第1回 R6. 9. 6 19:00～20:20 【オンライン（Zoom）会議】	<ul style="list-style-type: none">・第1回地域医療構想推進会議の主な意見について・地域医療体制の推進に係る課題解決に向けた今年度の圏域における取組について・医療機関対応方針の協議・検証について・令和6年度病床機能転換促進事業について・第8次地域保健医療計画に基づく病院整備計画の公募について・令和4年度病床機能報告・定量基準分析について・令和5年度外来機能報告の結果及び紹介受診重点医療機関について	34名
第2回 R6. 12. 9 19:00～20:20 【オンライン（Zoom）会議】	<ul style="list-style-type: none">・第2回地域医療構想推進会議の主な意見について・令和5年度病床機能報告の結果について・地域医療における連携に関するアンケート調査について・区域対応方針（案）について	35名

第3回 R7.3.10 【書面会議】	・紹介受診重点医療機関に係る協議 ・区域対応方針（案）について ・病床公募の結果について（報告事項）	36名
--------------------------	--	-----

(2) 埼玉県北部地域保健医療協議会

日時・場所	内 容	出席委員数
第1回 R6.5.17 【書面会議】	・圏域別取組（第8次計画）の策定について（報告事項）	32名
第2回 R7.3.14 【書面会議】	・令和6年度圏域別取組状況について（報告事項）	32名

II 生涯を通じた健康づくり体制の確立

1 健康づくりの推進

(1) 健康増進（専門的栄養指導、給食施設指導等）

ア 栄養・運動等指導

健康増進法第18条第1項に基づき、専門的な健康づくり・栄養指導等を実施した。

対象	個別指導延人員			集団指導延人員				
	栄養指導	病態別(再計)	禁煙指導	健康増進	栄養指導	病態別(再計)	運動指導	禁煙指導
20歳以上	75人	0人	107人	0人	299人	0人	0人	208人

イ 給食施設指導

健康増進法第18条第2項に基づき、給食施設指導を実施した。

	特定給食施設 (1回100食又は 1日250食以上)	特定給食施設 (1回300食又は 1日750食以上)	その他の給食施設
栄養管理指導延施設数	113施設	25施設	96施設
喫食者への栄養指導等	-	-	-

給食施設台帳システムによる給食施設管理 374 施設

健康増進法施行細則による届出 開始届 4 施設、変更届 75 施設、休・廃止届 10 施設

a 給食施設研修会

給食施設の衛生管理、栄養管理、受動喫煙対策、地域の食育推進等に関する研修会を開催した。

実施日	内容・対象施設	参加人数
R6.6.3～R6.9.30 YouTube 限定公開	給食施設研修会 (食の安全大里地域推進会議と共催) (1) 保健所からのお知らせ 「給食施設、栄養成分表示、診療報酬改定について」 講師 熊谷保健所 保健予防推進担当職員 (2) 講義 「給食施設における衛生管理について」 講師 熊谷保健所 食品監視担当職員 対象 児童福祉、学校、医療機関、老人保健施設、 老人福祉施設、事業所等の衛生管理、施設管理担当者等	動画再生数 203回 (110施設)

R6. 8. 9	<p>令和6年度小児アレルギー研修会 (食の安全大里地域推進会議と共催)</p> <p>(1) 講話 食物アレルギーの基礎について 講師 埼玉医科大学病院 小児アレルギーエデイケーター (管理栄養士) 関澤 藍 氏</p> <p>(2) 講話 食物アレルギーの緊急対応について 講師 プラーナクリニック 小児アレルギーエディケーター (薬剤師) 逸見 和範 氏</p> <p>(3) エピペントレーナーによる練習</p> <p>(4) 緊急時シミュレーション</p> <p>(5) グループワーク</p> <p>対象 管内市町教育委員会、子育て支援主管課、学校、幼稚園、児童福祉施設（保育所、放課後児童クラブ等）、北部ブロック保健所職員</p>	59人 (48施設)
R6. 10. 16	<p>第1回災害時の食支援研修会</p> <p>講話 給食提供に係るBCP策定の意義と策定時の視点 講師 女子栄養大学 公衆栄養学研究室 准教授 久保 彰子 氏</p>	管内49人 (48施設)
R7. 1. 22	<p>第2回災害時の食支援研修会</p> <p>グループ別意見交換 助言者 女子栄養大学 公衆栄養学研究室 准教授 久保 彰子 氏</p> <p>対象 北部地域及び近隣保健所管内給食施設（3食提供）関係職員、市町保健衛生主管課関係職員、栄養関係団体等</p>	管内51人 (39施設)

b 給食施設の実地指導

地域の健康課題の改善に向け、栄養指導員による給食施設実地指導を実施した。

実施日	内容・対象施設	参加人数
R6. 9～R7. 2	立入検査における指導（病院・有床診療所）	20施設

(2) 国民健康・栄養調査

健康増進法第10条に基づき、国民の身体状況、栄養素等摂取量及び生活習慣の状況を明らかにし、国民の健康増進の総合的な推進を図るために基礎資料を得ることを目的に実施するものである。

（令和6年度は該当なし）

(3) 食育推進事業

地域における食育の推進を図るために、広域的な活動を行う食育・健康づくり関係団体の活動に参加、情報提供等の支援を実施した。

団体名	支援内容	実施回数
北部食育の会 (地域活動栄養士会)	保健所からの資料・情報提供 (メール・電話等)	5回
(公社) 埼玉県栄養士会 北部地域事業部	運営委員会への参加、保健所からの情報提供 R7.3.11事業部主催研修会の管内給食施設、北部ブロック保健所へ周知 講話「災害に備える～能登の教訓により職場から家庭まで」 講師 行田市市民生活部危機管理課 主査 平井 雄大 氏 講話「災害時の栄養・水分補給～知って、備えて、身を守る～」 講師 大塚製薬株式会社 営業課 課長 延命 伸一郎 氏	7回

(4) 食品表示法に基づく食品の表示指導

ア 生活衛生担当及び食品監視担当職員と連携し、食品事業者等からの食品表示（栄養成分表示及び保健機能表示等）に関する相談対応及び表示違反食品の指導を実施した。

食品事業者相談 14件

表示違反食品事業者改善指導 4件

イ 健康増進法及び食品表示法に基づく買上げ検査の実施 3品

(5) 健康づくり協力店制度の普及

健康づくり協力店指定店 14店舗

(6) 地域・職域連携推進事業

地域での実情を踏まえて、地域保健と職域保健とが連携し効果的な健康長寿推進体制の構築を図ることを目的として実施している。

ア 働く世代の健康づくり支援

実施日	内 容	参加人数
R6.9.26	①北部保健医療圏地域・職域連携推進会議 参加者：熊谷労働基準監督署、協会けんぽ埼玉支部、商工会、商工会議所、東都大学、事業所、市町村（国保、保健） 内容： <ul style="list-style-type: none">・協会けんぽの保健事業について・従業員への健康づくりに関する情報提供・地域保健と職域保健の連携について情報交換・大学と地域、職域との連携について	19人

R6. 9. 26 オンライン・ 来場のハイブリ ッド開催	<p>②働く世代の健康づくり推進研修会</p> <p>参加者：北部保健所管内市町職員、事業所管理者及び 健康づくり担当者、商工会議所等職員、労働 基準監督所職員</p> <p>内容：「働く人の睡眠と健康について」 講師：医療法人 スリープクリニック三鷹 院長 甫母 瑞枝 氏</p>	44 人
R6. 8. 26～12. 27 YouTube動画 限定配信	<p>③働く人の健康づくり推進研修会</p> <p>参加者：北部保健所管内事業所管理者・健康づくり担 当者、市町職員、商工会議所等の関係職員</p> <p>内容：実践事業所から学ぶ！「従業員の健康づくりへ の第一歩」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「健康経営」で組織と自己の変革に挑戦 <p>発表者 永田紙業株式会社・明成物流株式会社 社長室長 佐藤 英 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「タカハシソース “流” 健康経営」 <p>発表者 高橋ソース株式会社 取締役 高橋 義揚 氏</p>	再生 回数 124回
R7. 2. 17 オンライン・ 来場のハイブリ ッド開催	<p>④働き世代の健康づくり研修会</p> <p>参加者：北部保健所管内事業所管理者・健康づくり担 当者、市町職員、商工会等関係職員等</p> <p>内容：「町民の健康状態について～寄居町を例に～」 講師 寄居町健康づくり課 主幹 講義及び情報交換 「なぜ今、職場の健康づくりが必要なのか？」 ～従業員の健康を守ることのメリット～ 講師 慶應義塾大学 吉田 裕美 氏 「これから健康づくりに関する取り組みにつ いて・質疑応答」 講師 寄居町役場健康づくり課 主幹</p> <p>⑤保健所管内事業所へのヒアリング 事業所に従業員への健康づくりの取組について、市 町職員と合同でヒアリングを13事業所に実施した。</p>	74 名

イ 特定健診受診率向上事業

実施日	内 容	参加人数
R6. 6. 12	管内市町健康づくり・栄養担当者会議 ・各種保健事業の実施状況について ・情報交換 対象 管内市町国保・保健衛生主管課担当者、栄養業務担当者等	12人
R6. 11. 13	令和6年度国保・後期高齢者ヘルスサポート事業拠点保健所別研修会（国保医療課・国保連合会主催） 対象 北部ブロック市町村国保・保健担当者 グループワーク 「特定健診に関する取り組みの共有について」 「特定保健指導・積極的支援アウトカム評価の導入について」 助言者 国立保健医療科学院 生涯健康研究部長 横山 徹爾氏	管内 28人
R6. 10. 24	令和6年度都道府県国保ヘルスアップ支援事業	
R7. 3. 11	(国保医療課主催) ・特定健診未受診者受診勧奨及び特定保健指導未利用者勧奨中間報告会 ・特定健診未受診者受診勧奨及び特定保健指導未利用者勧奨年度末報告会	

ウ 効果的な保健指導実施支援事業

実施日	内容	参加人数
R6. 12. 11 オンライン研修	保健指導スキルアップ研修会（本庄保健所主催） 対象 管内市町及び医療機関保健指導従事者 講話 「禁煙外来から見た健康課題について」 ~COPDを中心に~ 講師 プラーナクリニック院長 青木 康弘氏 講話 「食生活に関する指導技術」 ~食事のタイミングについて~ 講師 国立研究開発法人医薬基盤整備・健康栄養研究所 室長 吉村英一 氏	管内 13人 (9施設)

エ 健康長寿サポーター養成講座

R6. 4. 23	健康長寿サポーター養成講座 講師 熊谷保健所 保健予防推進担当職員 対象 学生実習オリエンテーション	55 人
R6. 5. 24	対象 公益財団法人埼玉弘済会大里支部 内容 講話「コロナ禍の経験を踏まえた健康づくりについて」	84 人
R6. 11. 12	対象 埼玉県理容生活衛生同業者組合 大里支部 内容 講話「人生100年時代！いつまでも元気で過ごしていくポイント」	32 人

(7) 受動喫煙防止対策

ア 改正健康増進法及び県条例に基づく受動喫煙防止対策

内 容	施設数（合計）
事業者(飲食店・事業所等)からの個別相談	11 施設
受動喫煙対策に関する通報(苦情)対応	8 施設 (現地調査 1 施設 2 回)
喫煙可能店に関する届出 施設数	140 施設
埼玉県受動喫煙防止対策条例に基づく届出 施設数	114 施設
埼玉県受動喫煙対策等実施施設 認証施設数	敷地内禁煙 99 施設 屋内禁煙（単独） 308 施設 屋内（テナント内） 40 施設

イ 受動喫煙防止対策推進のため研修会を実施

実施日	内 容	参加人数
R6. 5. 24	「保健指導スキルアップ研修会」「健康長寿サポーター養成講座」として実施	84 人
R6. 12. 11	（6）地域・職域連携推進事業 ウ 効果的な保健指導実施支援事業、エ 健康長寿サポーター養成講座を参照	13 人

(8) 栄養士・調理師養成施設の指導

ア 管理栄養士公衆衛生実習指導

女子栄養大学	令和6年10月16日～10月31日	10日間	3人
東都大学	令和6年10月16日～10月23日	5日間	1人

イ 栄養士法・調理師法に基づく届出の進達

栄養士養成施設 東都大学、埼玉県栄養専門学校

調理師養成施設 埼玉県調理師専門学校

2 歯科保健の推進

地域歯科保健連携支援事業

保健所・市町・地域歯科医師会との連携を図り地域における歯科保健の推進を目的に、地域歯科保健連携会議を実施した。

実施日	内容・対象者	参加人数
R6. 10. 31	<p>(1) 埼玉県歯科医師会からの情報提供 深谷寄居歯科医師会 地域保健部 豊岡 英一 先生</p> <p>(2) 「地域包括ケアシステムにおける医師の立場からの解説」 講師:熊谷生協病院 名誉院長 小堀 勝充 先生</p> <p>(3) グループディスカッション 「在宅高齢者の歯科口腔状態と医療機関との繋がりについて」</p> <p>対象 熊谷市歯科医師会及び深谷寄居歯科医師会、県歯科衛生士会北部支部、市町保健衛生、高齢、障害福祉、地域包括支援センター担当職員、保健所職員等</p>	32人

3 母と子の健康を守るために

(1) 結核児童療育医療給付

18歳未満の結核に罹患している児童に対し、入院の医療給付を行うものである。
なお、令和6年度の申請はなかった。

(2) 小児慢性特定疾病医療費助成

小児慢性特定疾病児童等の健全育成の観点から、児童福祉法に基づき、児童等の慢性疾病のうち国が指定した小児慢性特定疾病（788疾病、16疾患群）の医療にかかる費用の一部を助成し、小児慢性特定疾病児童等の家庭の医療費の負担軽減を図ることを目的に実施した。

ア 各種申請・変更等件数

令和6年度（単位：件）

医療費 支給 新規 申請	再掲) 県外 転入	医療費 支給 継続 申請	重症患 者認定 変更 申請	変更 申請・ 変更届 申請	再交付 申請	適用区 分変更	療養費 申請	返還	取下げ
55	7	250	10	46	6	31	8	4	2

イ 疾患群別・市町村別件数

令和6年度（単位：件）

	疾患群	管内	熊谷市	深谷市	寄居町
	総 数	327	159	144	24
01	悪性新生物	57	28	27	2
02	慢性腎疾患	16	10	5	1
03	慢性呼吸器疾患	11	2	8	1
04	慢性心疾患	61	25	31	5
05	内分泌疾患	49	24	20	5
06	膠原病	7	5	2	0
07	糖尿病	18	9	7	2
08	先天性代謝異常	4	2	2	0
09	血液疾患	9	4	4	1
10	免疫疾患	1	1	0	0
11	神経・筋疾患	31	13	12	6
12	慢性消化器疾患	33	20	12	1
13	染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	19	9	10	0
14	皮膚疾患	1	0	1	0
15	骨系統疾患	9	6	3	0
16	脈管系疾患	1	1	0	0

(3) 虐待予防の視点に立った母子保健事業

ア 妊娠期からの虐待予防強化事業

県内全産科医療機関と地域保健機関等が連携し、妊娠期の段階から支援が必要であると判断される家庭を積極的に把握し、訪問指導を行っている。具体的には、医療機関から送付される連絡票により市町が訪問指導等を実施し、早期の育児不安等の軽減や、児童虐待の予防を図っている。

市町名	連絡件数
熊谷市	134
深谷市	87
寄居町	15
計	236

イ 妊娠期からの虐待予防強化事業に関する困難事例の検討会

管内市町各1回、合計3回実施

ウ 妊娠期からの虐待予防強化事業研修会（母子保健連携調整会議と同時開催）

管内市町の母子保健及び福祉担当職員並びに産科医療機関職員等を対象に、母子保健の充実強化及び妊娠期からの虐待予防強化事業の円滑な実施を図ることを目的に開催した。

年月日	内 容	人数
R6. 6. 6	1 講話 「パーソナリティ障害の理解と対応」 講師：菊池臨床心理オフィス 臨床心理士 菊池礼子氏 2 情報交換・意見交換	26人
R6. 12. 3	1 講話 「在日外国人の妊婦や保護者への支援」 講師：NPO 法人 Mother's Tree Japan 坪野谷知美氏 2 情報交換・意見交換	21人

エ 要保護児童対策地域協議会への出席等

虐待予防を目的とした各市町の要保護児童対策地域協議会に出席した。

(単位：回)

	代表者会議	実務者会議	定例会	個別ケース会議
熊谷市	1	2	10	0
深谷市	0	12	—	0
寄居町	1	4	—	0

(4) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

ア 長期療養児教室

医療的ケア児等の支援者が、災害における公助と共助への取組や自助を促すための課題を共有し、更なる支援につなげることを目的として、研修会を実施した。

年月日	内 容	人数	対象者
R6. 12. 23	1 「効果的な個別避難計画作成への取組」 講師：熊谷市福祉総務課 飛田敬吾氏 地域センターたいよう 茂木健司氏 熊谷総合病院 長谷裕美氏 2 「災害時の電源の知識」 講師：プランナクリニック 医療技術部長 阿部博樹氏	31人	医療的ケア児の在宅療養に関わる管内市町障害福祉課・危機管理課職員、訪問看護職員、相談支援事業所職員等

イ 個別支援状況

(単位：件)

	妊婦		産婦		未熟児		乳児		幼児		その他		計	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
訪問	—	—	—	—	—	—	11	13	4	4	3	4	18	21
面接	—	—	—	—	—	—	10	10	10	10	26	26	46	46
電話等	延 55													

(5) 母子保健体制強化事業

ア 母子保健連携調整会議

妊娠期からの虐待予防強化事業研修会（（3）ウ）と同時開催

イ 子どもの心の健康相談

精神的な問題があると思われる児童やその児童に関わる関係者の相談に対応した。

専門相談

嘱託医や臨床心理士による専門相談を行った。

実 施 回 数	9	相談内容内訳	件数
従事者内訳 (延人数)	精神科医・小児科医	行動の問題	5
	臨床心理士	心理的問題	2
	保育士	社会化的問題（非行、不登校、いじめ等）	1
	保健師	発達の問題	1
利用者	実人数	家族機能の問題	1
	延人数	関係者の対応	3
合 計			13

ケースカンファレンス

市町職員等の関係者とケースカンファレンスを行った。

延 4 件

随時相談

(単位: 件)

実 数	延 数	延人数内訳		
		電話	面接	訪問
95	167	134	12	21

ウ 子どもの心のネットワーク事業

子どもの心の健康問題に携わる関係機関は、保健・医療・福祉・教育・警察等多岐に及んでいる。そのため、関係機関がネットワークを構築し、小児精神保健医療に関する共通の認識・情報共有を図ることを目的に実施した。

子どもの心の問題に関する研修会

(精神保健福祉事業「ひきこもり支援者懇話会」と同時開催)

年月日	内 容	人数	参加者の所属
R6. 12. 9	講義 「働くない子どものいる家庭の経済課題」 講師：1級ファイナンシャルプランニング技能士 柳澤美由記氏	33人	管内市町保健・福祉担当職員、教育委員会、療育施設、基幹相談支援センター、相談支援事業所、民間支援団体、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、当事者とその家族、精神保健福祉センター、保健所職員

4 心の健康を守るために

(1) 心の健康相談

(単位：人)

実人員	延べ人員													合計	再掲		
	老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	ゲーム	思春期	心の健康づくり	うつ・うつ状態	摂食障害	てんかん	その他	ひきこもり		発達障害	自殺関連	
面接	41	7	7	4	1	1	3	10	2	0	0	59	95	12	3	2	
訪問	97	14	9	6	0	0	0	0	0	0	0	102	131	20	1	0	
電話	288	37	40	21	3	1	2	8	60	8	0	1	477	658	24	11	29
メール	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0	

(2) 精神障害者の医療等の状況

ア 精神保健福祉法に基づく申請及び通報等

(単位：件)

	通報申請 件数	診察 不要	措置診察結果			本鑑定 (再掲)
			緊急 措置	措置 入院	不要 措置	
一般人の申請 (22条)	—	—	—	—	—	—
警察官の通報 (23条)	82(27)	44(16)	4(2)	26(8)	8(1)	4
検察官の通報等 (24条)	8	1	1	5	1	1
矯正施設の長の 通報等 (26条)	15	15	—	—	—	—
計	105(27)	60(16)	5(2)	31(8)	9(2)	5

* () 内は埼玉県精神科救急情報センター対応

イ 入院届、定期病状報告等届出件数

(単位：件)

入院届		退院届	定期病状報告		計
医療保護入院	応急入院		措置入院	医療保護入院	
934	8	776	10	434	2162

(3) ひきこもり対策事業

ひきこもり当事者・家族及び関係者が、正しい知識の獲得と対応方法の助言を受けるために、ひきこもり専門相談等を実施した。

ア ひきこもり相談

- ・専門相談 3回 延べ3件
- ・随時相談 来所：延べ12件 電話：延べ24件 訪問：延べ20件

イ ひきこもり支援者懇話会

形式的な枠組みにとらわれず支援者同士が顔を合わせて悩みや課題を共有できる場として、令和3年11月から実施している。

実施日	内 容	対象者	参加人数
R6.7.8	<p>【第1回】</p> <p>(1)管内ひきこもり支援者の活動や事業報告及び情報共有</p> <p>(2)令和6年度第2回ひきこもり支援者懇話会及び研修会の実施について</p>	深谷若者サポートステーション、寄居町社会福祉協議会、生活困窮者自立相談支援機関、管内市町担当者、管内障害者基幹相談支援センター、管内教育研究所、医療機関、訪問看護ステーション他	16人
R6.12.9	<p>【第2回】</p> <p>(1)講義「働けない子どものいる家庭の経済準備」</p> <p>(講師：働けない子どものお金を考える会 柳澤美由紀 氏)</p> <p>(2)懇談会</p>		27人

ウ ひきこもり支援者研修会

ひきこもり支援者懇話会（第2回）と合わせて開催した。

(4) 埼玉県措置入院者退院後支援事業

ア 措置入院に対する退院後の支援の実施（調整会議）

会議の開催 2回 支援計画作成 2件

イ 所内ケースカンファレンス 11回

精神医療センター医師の技術協力を得て、措置入院ケースの処遇について検討した。

(5) 精神障害者を地域で支えるシステム構築事業

令和5年度から（4）埼玉県措置入院者退院後支援事業の一環で実施していた「精神障害者支援地域協議会」と精神障害者を地域で支えるシステム構築事業の一環で実施していた「精神障害者地域支援体制構築会議」を統合し『精神保健福祉会議』として開催している。

ア 精神保健福祉会議（代表者会議）

実施日	内 容	参加者	参加人数
R6. 11. 12	(1)熊谷保健所管内における精神障害に対応した地域包括ケアシステム構築事業について (2)熊谷保健所における措置入院の運用状況および、措置入院者の退院後支援事業の取組について (3)精神保健福祉法改正に関連した対応状況について (4)地域における課題及び情報交換	管内精神科医療機関の長、管内機関相談支援センター代表者、家族会会长、管内市町保健・福祉主管課長、管内警察署生活安全課長、訪問看護ステーション管理者	30人

イ 精神保健福祉会議（実務者会議）

実施日	内 容	参加者	参加人数
R6. 6. 24	(1)精神保健福祉事業実績と今年度計画 (2)精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて (3)精神保健福祉法改正等に係る情報交換	管内精神科病院職員、管内相談支援センター職員、市町担当者、精神保健福祉センター職員	24人

ウ 精神障害者に対応した地域包括ケアシステム構築推進研修

実施日	内 容	参加者	参加人数
R7. 3. 4	(1) 講義 実践報告 (行政機関、地域機関) (2) 演習 グループディスカッション、まとめ	精神科医療機関職員、管内市町担当者、相談支援専門員、訪問看護ステーション職員、地域包括支援センター職員等	36人

エ 大里地域自立支援協議会事務局会議

事務局会議に出席した。

実施日	内 容	参加機関
R6. 7. 24	(1) 令和6年度計画の共有・各市町部会進捗状況報告	大学、基幹相談支援センター、障がい者就労

	(2) 相談支援専門員不足について現状の共有と解消に向けた取り組み (3) 自立支援協議会のあり方について (4) 日中サービス支援型共同生活援助について	・生活支援センター、グループホーム、管内市町福祉主管課、保健所
R7. 2. 18	(1) 各市町部会の進捗状況報告 (2) 大里自立支援協議会の在り方について (3) 日中サービス支援型共同生活援助について	

オ 大里地域自立支援協議会精神障害者地域支援体制整備部会

管内市町の共同設置により運営する部会及びその事前検討会に出席した。

実施日	内 容	参加機関
R6. 8. 28	(1)事例紹介 (2)大里地域における地域定着支援までの流れについて（ディスカッション）	管内精神科病院、移行支援事業所、基幹相談支援センター、保健所、市町福祉主管課・保健主管課
R6. 11. 20	(1)事例紹介 (2)大里地域における地域定着支援までの流れについて（ディスカッション）	
R7. 2. 12	(1)事例紹介 (2)大里地域における地域定着支援までの流れについて（ディスカッション）	

（6）県北保健所ブロック会議

実施日	内 容	参加機関
R6. 5. 9	(1)令和5年度事業報告 (2)令和6年度事業計画共有 (3)精神保健福祉法改正について (4)その他の業務にかかる情報共有	本庄保健所、秩父保健所、熊谷保健所、疾病対策課、障害者福祉推進課、精神保健福祉センター 計9名

（7）市町等関係機関との連携

ア 事例検討会等への支援

随時電話やケース検討会議等で助言を行った。

イ 自殺予防対策に関する支援

令和6年1月21日 深谷市自殺対策ネットワーク会議へ参加

令和6年10月25日 熊谷市自殺予防対策連絡協議会へ参加

ウ 地域包括支援センターへの技術支援

随時実施

エ 断酒会・AAとの協力

事業パンフレットの配布等の協力

5 難病患者のQOL（生活の質）を向上するために

(1) 指定難病医療給付事業

国が指定した疾患の患者に対して、効果的な治療方法が確立されるまでの間、長期の療養による医療費の経済的な負担を軽減するための支援として医療給付制度の活用を図った。

なお、令和5年度から継続申請は委託となっており、継続申請受付センターへの郵送申請を基本とし、変更がある場合など一部は保健所で受付を行った。

ア 指定難病申請受付数

令和7年3月31日現在（単位：件）

新規申請	継続申請	計
430	703	1,133

イ 指定難病医療給付受給者数

難病の患者に対する医療等に関する法律が平成27年1月1日より施行され、令和7年3月31日現在、指定難病医療給付受給者数は下表のとおりとなっている。

なお、下表は管内に受給者のいない疾患については省略したものである。

令和7年3月31日現在（単位：人）

疾患番号	疾患名	熊谷市	深谷市	寄居町	計
	総 数	1389	1019	249	2657
1	球脊髄性筋萎縮症	3	1	0	4
2	筋萎縮性側索硬化症	12	4	1	17
3	脊髄性筋萎縮症	1	1	0	2
5	進行性核上性麻痺	13	13	2	28
6	パーキンソン病	160	121	28	309
7	大脳皮質基底核変性症	1	1	1	3
8	ハンチントン病	1	0	0	1
10	シャルコ・マリー・トゥース病	2	0	2	4
11	重症筋無力症	50	34	10	94
13	多発性硬化症／視神經脊髄炎	28	28	10	66
14	慢性炎症性脱髓性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	9	5	1	15
15	封入体筋炎	2	1	0	3
17	多系統萎縮症	15	11	1	27
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	27	25	5	57
19	ライソゾーム病	1	2	2	5
20	副腎白質ジストロフィー	1	0	1	2
21	ミトコンドリア病	0	2	0	2
22	もやもや病	19	18	1	38
23	プリオൺ病	2	1	0	3

疾患番号	疾 患 名	熊谷市	深谷市	寄居町	計
28	全身性アミロイドーシス	4	8	2	14
29	ウルリッヒ病	1	0	0	1
30	遠位型ミオパチー	0	0	1	1
34	神経線維腫症	4	4	0	8
35	天疱瘡	7	4	2	13
37	膿疱性乾癥（汎発型）	4	1	0	5
40	高安動脈炎	1	4	0	5
41	巨細胞性動脈炎	2	2	0	4
42	結節性多発動脈炎	3	5	0	8
43	顕微鏡的多発血管炎	9	13	8	30
44	多発血管炎性肉芽腫症	7	3	1	11
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	10	10	0	20
46	悪性関節リウマチ	7	3	2	12
47	バージャー病	0	1	0	1
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	0	1	0	1
49	全身性エリテマトーデス	101	69	20	190
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	49	29	9	87
51	全身性強皮症	50	32	13	95
52	混合性結合組織病	16	12	2	30
53	シェーグレン症候群	15	6	4	25
54	成人発症スチル病	5	11	1	17
55	再発性多発軟骨炎	2	0	0	2
56	ベーチェット病	18	13	3	34
57	特発性拡張型心筋症	14	14	2	30
58	肥大型心筋症	3	2	3	8
60	再生不良性貧血	13	13	2	28
61	自己免疫性溶血性貧血	1	2	0	3
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1	0	0	1
63	特発性血小板減少性紫斑病	33	20	4	57
64	血栓性血小板減少性紫斑病	0	1	0	1
65	原発性免疫不全症候群	2	1	0	3
66	IgA 腎症	16	4	5	25
67	多発性囊胞腎	26	14	5	45
68	黄色靭帶骨化症	6	5	2	13
69	後縦靭帶骨化症	51	26	5	82
70	広範脊柱管狭窄症	9	4	1	14

疾患番号	疾 患 名	熊谷市	深谷市	寄居町	計
71	特発性大腿骨頭壞死症	23	18	11	52
72	下垂体性 ADH 分泌異常症	2	0	0	2
74	下垂体性 PRL 分泌亢進症	1	0	0	1
75	クッシング病	2	0	0	2
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	7	2	0	9
78	下垂体前葉機能低下症	26	15	5	46
79	家族性高コレステロール血症 (ホモ接合体)	4	1	0	5
83	アジソン病	1	0	0	1
84	サルコイドーシス	36	29	9	74
85	特発性間質性肺炎	26	30	4	60
86	肺動脈性肺高血圧症	9	4	0	13
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	3	3	1	7
89	リンパ脈管筋腫症	2	2	1	5
90	網膜色素変性症	21	13	5	39
91	バッド・キアリ症候群	0	1	0	1
92	特発性門脈圧亢進症	2	0	0	2
93	原発性胆汁性胆管炎	19	13	4	36
94	原発性硬化性胆管炎	1	0	0	1
95	自己免疫性肝炎	11	6	0	17
96	クローン病	62	55	9	126
97	潰瘍性大腸炎	186	128	20	334
98	好酸球性消化管疾患	2	1	0	3
106	クリオピリン関連周期熱症候群	0	1	0	1
107	若年性特発性関節炎	3	2	1	6
109	非典型溶血性尿毒症症候群	0	1	0	1
113	筋ジストロフィー	8	3	2	13
117	脊髄空洞症	1	1	0	2
127	前頭側頭葉変性症	2	0	2	4
136	片側巨脳症	0	1	0	1
140	ドラベ症候群	1	0	0	1
144	レノックス・ガストー症候群	0	1	0	1
147	早期ミオクロニ一脳症	1	0	0	1
158	結節性硬化症	1	3	2	6
159	色素性乾皮症	1	0	0	1
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	4	4	1	9
163	特発性後天性全身性無汗症	0	1	0	1

疾患番号	疾 患 名	熊谷市	深谷市	寄居町	計
167	マルファン症候群／ロイス・ディーツ症候群	1	2	0	3
209	完全大血管転位症	0	1	0	1
210	単心室症	1	1	0	2
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	2	0	2
215	ファロー四徴症	1	3	0	4
216	両大血管右室起始症	1	0	0	1
220	急速進行性糸球体腎炎	3	3	1	7
221	抗糸球体基底膜腎炎	1	1	0	2
222	一次性ネフローゼ症候群	27	18	2	47
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	2	0	2
224	紫斑病性腎炎	2	0	0	2
227	オスラー病	1	2	0	3
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	1	0	0	1
230	肺胞低換気症候群	1	0	0	1
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	1	0	0	1
265	脂肪萎縮症	0	1	0	1
266	家族性地中海熱	1	0	0	1
271	強直性脊椎炎	7	5	0	12
277	リンパ管腫症/ゴーハム病	1	1	0	2
281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0	1	0	1
283	後天性赤芽球癆	1	4	2	7
288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	1	0	1	2
290	非特異性多発性小腸潰瘍症	2	0	0	2
296	胆道閉鎖症	1	2	0	3
300	IgG4関連疾患	7	5	0	12
301	黄斑ジストロフィー	1	1	0	2
306	好酸球性副鼻腔炎	18	20	4	42
327	特発性血栓症 (遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	1	0	0	1
329	無虹彩症	1	0	0	1
331	特発性多中心性キャッスルマン病	1	0	0	1

※県単独指定難病受給者 7人 特定疾患受給者（重症急性膵炎）0人

キ 先天性血液凝固性因子欠乏症医療給付受給者数

令和7年3月31日現在

計	熊谷市	深谷市	寄居町
16人	10人	6人	0人

(2) 在宅難病患者支援事業

管内の難病患者（ALS、多系統萎縮症等）における個別支援を実施した。ALS、多系統萎縮症等の訪問（延べ）92件、電話・面接・相談（延べ）286件。

また、災害対策として、災害時医療機器使用者リスト（人工呼吸器使用者含む）及びハザードマップの対象者のマッピングを更新した。年1回、訪問屋の文書の送付により患者情報を把握し支援を実施した。

併せて、患者家族を対象とした医療相談会及び関係機関職員を対象とした研修を開催した。

ア 難病相談事業

a 患者家族のつどい

年月日・場所	内 容	対 象	参加人数
R6.11.27(水) 男女共同参画 推進センター 「ハートピア」 会議室 Zoom ミーティング	<p>第1部 講演</p> <p>テーマ① 「神経難病の基礎知識」について 講師 埼玉県リハビリテーションセンター 市川 忠 センター長</p> <p>テーマ② 「コミュニケーションの支援」について 講師 埼玉県リハビリテーションセンター 荒木 敏文 技師</p> <p>第2部 集団相談会 疾患（ALS、多系統萎縮、脊髄小脳変性症）ごとに分かれ、集団相談会を実施</p> <p>助言者</p> <p>① 埼玉県リハビリテーションセンター 市川 忠 センター長 鈴木 康子 副技師長 荒木 敏文 技師</p> <p>② いしばし脳神経内科クリニック 石橋 哲 医師</p>	筋萎縮性側索硬化症・多系統萎縮症・脊髄小脳変性症の患者及び家族	計21名 会場19名 オンライン2名

b 難病事業担当者北部ブロック会議

年月日・場所	内 容	対 象	参加人数
【第1回】 R6.5.23(木) 熊谷地方庁舎 保健所会議室	第1回（本庄保健所担当） (1) 各保健所の令和5年度実施状況及び 令和6年度の実施計画について (2) 北部ブロック協働事業について ① A L S 北部ブロック交流会 ② 北部ブロック会議 (3) 情報交換・意見	北部3保健所 難病事業 担当者 疾病対策課	8名
【第2回】 R7.2.27(木) 熊谷地方庁舎 保健所会議室	第2回（秩父保健所担当） (2) 各保健所の令和6年度実施状況及び 令和7年度の実施計画について (2) 北部ブロック協働事業について ① A L S 北部ブロック交流会 ② 北部ブロック会議 (3) 情報交換・意見	北部3保健所 難病事業 担当者 疾病対策課	7名

イ 関係機関職員研修

年月日・場所	内 容	対 象	参加人数
R6.6.28(金) 熊谷生協ケア センター内 くまこ Zoom ミーティング	難病支援者研修会 テーマ① 「難病患者の療養生活に係わる各種制度/難病支援における多職種連携」について 講師 国立病院機構 東埼玉病院 医療ソーシャルワーカー 武藤陽子 先生 テーマ② 「埼玉県における難病対策事業/保健所における難病相談事業」について 講師 熊谷保健所 難病担当 テーマ③ 「熊谷生協訪問看護ステーションにおける難病患者への関わり」について 講師 熊谷生協訪問看護ステーション 高橋由美 看護師、福田恭子 看護師 ※熊谷生協訪問看護ステーションが実施する訪問看護教育ステーション事業研修との共催	市町障害福祉 課、リハビリ スタッフ、 訪問看護師、 介護支援専門 員等	計 89 名 会場15名 オンライン 74名

R7.3.10(月) Teams	難病支援者研修会 テーマ 「熊谷地域でALSとして暮らすこと ～徒然なる思い～」 講師 阪爪 進一朗 氏	市町障害福祉課、リハビリスタッフ、訪問看護師、介護支援専門員等 筋萎縮性側索硬化症で療養されている患者・家族等	82名
---------------------	--	--	-----

ウ 熊谷保健所所管区域難病対策地域協議会

年月日・場所	内 容	出席委員数
R7.1.24(金) 熊谷地方庁舎 大会議室 Teams	内容 (1) 難病対策事業の取組と地域の課題について (2) 在宅難病患者の支援体制について (移送や災害対策等) 患者代表の阪爪委員のみTeamsで参加	14名

(3) 原子爆弾被爆者援護事業

原子爆弾被爆者援護法に基づき各種手当等の申請受付事務を実施した。

管内被爆者手帳所持者数	19人
健康管理手当等申請	3件
一般疾病医療費助成	1件
介護保険利用助成金	0件
その他の届出	1件

(4) 石綿健康被害救済給付業務

石綿健康被害救済制度に基づき石綿健康被害の相談、健康被害認定申請書等の受付を実施した。

石綿健康被害相談	5件
申請受付件数	0件

6 感染症を予防するために

(1) 感染症予防

保健所における感染症予防対策は、平常時対策と発生時対策に大別される。

平常時対策としては、感染症流行状況の把握及び情報提供、知識普及のための教育活動を行っている。

発生時対策としては、疫学調査、健康診断、消毒・保健指導等を行い、感染拡大の防止に努めている。

<平常時対策>

ア 感染症発生動向調査事業

県内の患者発生状況、病原体の検索など流行の実態を早期かつ的確に把握し、その情報を速やかに地域に還元することにより、感染症の発生及びまん延を未然に防止することを目的に実施している。

週報 15 医療機関、月報 4 医療機関、病原体検査 3 医療機関、疑似症 1 医療機関を定点として報告を依頼し事業を実施している。

令和 6 年度の感染症発生動向調査による検査は 69 検体（病原体検査定点からの検査は 36 検体）実施した。

イ 感染症に関する訓練・研修・連絡会議等

感染症予防に関する正しい知識の普及啓発及び健康危機管理体制の強化を図るため、会議及び研修会を実施した。

年 月 日	内容またはテーマ	対象者	参加人数
R6. 10. 25 13:30～16:30 集合型及び オンデマンド 配信	高齢者施設向け感染症対策研修会 1) 報告 「保健所への集団発生報告について」 講師 熊谷保健所 保健予防推進担当 2) 講義 テーマ「施設内での感染症拡大を防止するため～新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ等の感染対策を中心に～」 講師 社会医療法人熊谷総合病院 感染管理認定看護師 棚澤 智行 氏 3) 演習 テーマ「ガウンテクニックを振り返ろう」 4) グループワーク テーマ「新型コロナウイルス感染症 5 類移行後の 感染症対策について」 (1) 発表 (2) 講師講評	高齢者施設職員等	29 人 配信 136 回 再生

R6. 12. 19 13:30～14:45	新型インフルエンザ等対策患者搬送訓練 (1) シナリオを用いて、訓練を実施。 (2) 患者搬送役の保健師2名が手順書に沿って防護服を着用。 (3) クリニックに見立てた相談室から車庫まで、アイソレーター付き車椅子に患者を乗せて移動。 (4) 搬送車に車椅子を乗せる手順をマニュアルで確認し、実践。 (5) 訓練振り返り	保健所職員	6人
R7. 1. 27 13:00～15:00 集合型とオンラインのハイブリッド開催	熊谷保健所管内感染症担当者会議 (1) 熊谷保健所からの報告 ア 管内の感染症流行状況と結核対策の現状 イ 令和6年度高齢者施設向け研修の実施報告 (2) 埼玉県の取り組み報告 ア 麻しん等感染症の発生状況 イ 新型インフルエンザ等対策行動計画 ウ 健康危機対処計画に基づく訓練状況 (3) 感染対策向上加算に係るカンファレンスにおける訓練等の実施状況について (4) 意見交換 新興再興感染症発生時に備えた平時からの取り組みについて ア 各機関の取り組み イ 今後の管内における広域訓練について ウ その他	管内感染症指定医療機関、協定締結医療機関、地域医師会、3市町、熊谷市・深谷市消防本部、訪問看護ステーション、県感染症対策課	26 機関 53人 (内 オンライン 18 機関 34人)

ウ 感染症の集団発生状況の把握

感染症の集団発生時は、埼玉県感染症集団発生情報把握事務取扱要領に基づき、施設管理者は管轄の社会福祉主管部局及び管轄保健所に報告することになっている。保健所は報告を受けると、状況確認の上、感染症拡大防止策等を指導している。重大な影響を与える恐れがあると認められる場合には、現地指導を行っている。

令和6年度（単位：件）

疾患名	集団発生報告件数 (口頭指導)
インフルエンザ	18
感染性胃腸炎	4
新型コロナウイルス感染症	62
その他	4

<発生時対策>

ア 感染症診査協議会

感染症法第24条により各保健所に設置され、就業制限、入院の勧告・延長、結核患者の医療についての診査を行っている。

令和6年度

開催回数	諮詢件数				
	就業制限 18条1項	応急入院 19条	入院		結核患者の医療 37条の2第1項
			20条1項	20条4項	
24回	29(19)件	15(15)件	14(14)件	21(21)件	69件

() は結核に関するもの(再掲)

イ 感染症法に基づく全数把握対象感染症発生数

令和6年度(単位:件)

類型	感染症名	届出件数	疫学調査件数
二類感染症	結核	33	33
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	9	9
四類感染症	E型肝炎	2	2
	レジオネラ症	15	15
五類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3	
	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	1	
	侵襲性肺炎球菌感染症	7	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5	
	梅毒(先天梅毒含む)	17	
	ウイルス性肝炎	3	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	
	百日咳	2	

(2) エイズ及びその他の性感染症予防

エイズ及びその他の性感染症検査を、月に2回実施している。

「HIV・梅毒即日検査」を第2木曜日の午前に、「HIV通常検査及びその他の性感染症検査」を第4火曜日の午前に実施している。令和6年5月からは従来のHIV即日検査に加え、梅毒即日検査を実施している。また、検査の予約についてはそれまで電話受付としていたが、令和6年7月の検査から埼玉県電子申請・届出サービスによるインターネット予約を導入している。

電話・メール等相談は隨時対応し、性感染症予防の普及啓発に努めている。

ア 性感染症相談件数

令和6年度(単位:件)

	来所	電話	メール	計
件数	0	144	3	147

イ 性感染症検査件数

令和6年度（単位：件）

	HIV抗体検査	梅毒反応検査	B型肝炎抗原検査	C型肝炎抗体検査	クラミジア抗体検査
即日検査	89	84			
通常検査	145	142	144	142	142
計	234	226	144	142	142

ウ 普及啓発事業

実施日等	事業内容
随時	HIV検査普及週間に合わせ、検査に関する概要を記載したチラシ入りポケットティッシュ500個を熊谷地方庁舎内各所、管内市町にて配布。
R6.11.29～R6.12.9	世界エイズデーに合わせ、熊谷地方庁舎1階にて世界エイズデーのポスター及び性感染症に関する資料のパネルを展示。
R6.11.29～R6.12.13	世界エイズデーに合わせ、熊谷地方庁舎各事務所において世界エイズデーポスターを掲示。

エ 性感染症に関する研修等

感染症予防に関する正しい知識の普及啓発を図るため、研修会を実施した。

年月日	内容またはテーマ	対象者	参加人数
① 男衾中学校 R6.9.19 9:50～12:50 ② 城南中学校 R6.9.24 14:40～15:30	男衾中学校、城南中学校性感染症講演会 1) 講義 「子宮頸がんを予防しよう!!～HPVワクチンと子宮頸がん検診について」 講師 寄居町役場健康づくり課 2) 講義 「性感染症について学ぼう」 講師 熊谷保健所 保健予防推進担当	① 男衾中学校全生徒 ② 城南中学校全生徒	① 174人 ② 129人
R6.12.25 13:30～16:30	性感染症対策研修会 1) 報告 「埼玉県内の性感染症発生状況について」 講師 熊谷保健所 保健予防推進担当 2) 講義 「性感染症と性の多様性の理解」 講師 特定非営利活動法人akta 理事長 岩橋恒太氏 3) ワークショップ 「わたしのライフヒストリー」 スピーカー 特定非営利活動法人akta	1) 小学校、中学校、高校等の保健主事、保健体育担当教諭、養護教諭等 2) 近隣保健所保健師	23人

	4) フリートーク 講義およびワークショップの意見交換	スタッフ	
R7.1.16 13:30～15:20	寄居城北高等学校講演会 1) 講義 「思春期のこころとからだ～寄居城北高校の皆さんへのメッセージ～」 講師 寄居町保健師 2) 講義 「性感染症について学ぼう」 講師 熊谷保健所 保健予防推進担当	寄居城北高校 1年生	196人

(3) 肝炎治療特別促進事業

B型及びC型ウイルス性肝炎患者の医療費負担を軽減することを目的に、平成20年4月から実施している。

ア 管内市町別肝炎治療受給者証交付申請件数 令和6年度（単位：件）

計	熊谷市	深谷市	寄居町
177	90	59	28

（参考）重症化予防推進事業検査費用助成申請件数（単位：件）

初回精密検査	定期検査
0	9

イ 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加申請件数 令和6年度（単位：件）

新規申請	更新申請	償還払い請求
3	4	4

(4) 結核対策

保健所における結核対策は、結核患者の登録、結核発生動向調査、接触者健康診断、管理検診、結核患者の医療、家庭訪問指導、関係機関との連携、普及啓発等多岐にわたり日々、結核の撲滅を目指して業務を推進している。

N E S I D 年報から

ア 新登録患者数（市町別活動性分類） 令和6年（単位：人）

総数	活動性結核						肺外結核活動性	潜在性結核感染症(別掲)	罹患率(人口10万対) ※1			
	肺結核			活動性								
	総数	喀痰塗抹陽性	その他	菌陰性	その他	菌陽性						

合 計	31	18	9	9	0	9	0	13	13	8.5
熊谷市	20	13	6	6	0	7	0	7	7	10.5
深谷市	7	3	1	1	0	2	0	4	4	5.0
寄居町	4	2	2	2	0	0	0	2	2	12.6

※1 潜在結核感染症は除く。

イ 年末現在登録患者数

令和6年12月31日現在（単位：人）

登録者総数	活動性結核									不活動性結核	活動性不明	潜在性結核感染症 (別掲)	有病率 (人口10万対) ※2				
	総数	肺結核活動性						肺外結核活動性									
		総数	登録時喀痰塗抹陽性			登録時核その他の陽性	登録時菌陰他性										
総 数	57	22	16	10	10	0	6	0	6	35	0	5	8	15.7			
熊谷市	35	12	10	6	6	0	4	0	2	23	0	1	8	18.3			
深谷市	17	7	4	2	2	0	2	0	3	10	0	2	0	12.1			
寄居町	5	3	2	2	2	0	0	0	1	2	0	2	0	15.8			

※2 潜在結核感染症は除く。

ウ 結核患者等への保健指導実施状況

令和6年度（単位：人） ※（ ）は実人員

区分	延人数
訪問	272(160)
面接	46(37)
電話	834(242)
文書	52(50)
計	1204(489)

エ 結核健康診断

保健所では、結核登録者及び接触者のための健康診断を実施するため、結核相談を実施している。保健所に来所できない方には、委託医療機関で健康診断を実施している。

令和6年度（単位：人）

実施状況	対象者	受診者数	健診内容			健診結果		
			ツバクリン 反応検査	IGRA	胸部 X線 撮影	患者	発病の おそれの ある者	潜在性 結核感 染症
保健所 35回	管 理	0	0	0	△	0	0	0
	家 族	26	0	26		0	0	3
	接 触 者	141	0	141		0	0	3
委託医療機関 (随時)	管 理	3	0	0	3	0	0	0
	家 族	2	0	2	2	0	0	0
	接 触 者	10	2	1	9	0	0	0
計		182	2	170	14	0	0	6

オ 定期の結核健康診断

感染症法第53条の7に基づき、事業者、校長、施設長（主に社会福祉施設等）及び市町村長等には、定期の健康診断を実施する義務がある。

令和6年度（単位：人）

実施者	対象者	対象者数 (実人員)	受診者数	受診率 (%)	結核患者 発見数	結核発病 のおそれ
事業者	病院、学校、施設等の 従事者	14,998	12,988	86.6	0	1
市町長	65歳以上の住民	117,260	15,583	13.3	1	2
施設長	65歳以上の入所者	2,431	1,941	79.8	0	0
校長	新入生	5,276	5,220	98.9	0	0
計		139,965	35,732	25.5	1	3

7 現任教育

(1) 県・市町村保健師連絡調整会議（地域別会議）

県・市町村の管理的立場にある保健師を対象に、組織的・計画的・継続的に保健師の人材育成に取り組み、現任教育体制の整備・充実を図ることを目的として会議を開催した。

年月日	内 容	参加人数
R6. 5. 23 9:30～ 12:00	会場：熊谷保健所 会議室 内容：第1回地域別会議 (1) 各所属における現任教育等の現状及び課題について (2) 令和6年度保健師人材育成研修について (3) 統括保健師の配置について (4) 情報交換	9人
R7. 2. 4 13:30～ 16:00	会場：熊谷保健所 会議室 内容：第2回地域別会議 (1) 各所属における現任教育等の現状及び課題について (2) 健康危機管理体制づくりについて (3) 情報交換	9人

(2) 熊谷保健所新任期保健師研修会

管内の新任期の保健師を対象に、基本的な業務の理解を深め、新任期の保健師同士の交流を目的として、埼玉県で作成した「ビギナー保健師とらのまき動画」のオンライン視聴、上映後の情報交換会を開催した。

年月日	内 容	参加人数
R6. 7. 22 R6. 7. 25	「ビギナー保健師とらのまき動画」上映会 (オンライン開催)	12人
R6. 8. 22	「ビギナー保健師とらのまき動画」上映会アフター (オンライン開催) 司会進行：熊谷保健所 職員	11人

(3) 拠点保健所における人材育成研修会

熊谷・鴻巣・秩父・本庄保健所管内の保健師を対象にP D C Aサイクルによる効果的な施策展開を図れるようになることを目的として研修会を実施した。

年月日	内 容	参加人数
-----	-----	------

R6. 12. 18 13:30～ 16:30	会場：熊谷地方庁舎 大会議室 テーマ：P D C A サイクルに基づく保健事業 内容：講義（事前課題：オンデマンド研修） 事例発表及びグループワーク 講師：東都大学 ヒューマンケア学部 看護学科 教授 市原 千里 氏 准教授 中島 富志子 氏 講師 吉羽 久美 氏	27人
-------------------------------	---	-----

（4）健康危機に備えた地域保健活動

ア 熊谷保健所拠点管内災害対応研修

拠点保健所の各自治体保健師等を対象に、災害対応能力の向上を目的として研修会を実施した。

日時・場所	内 容	対象者	人数
R6. 7. 16 13:30～16:30 熊谷地方庁舎 大会議室	令和6年度熊谷保健所拠点管内災害対応研修 【内容】 ・事前オンデマンド研修 ・講義及び演習 （1）講義「災害時保健活動の基本」 ～自治体職員に求められること～ （2）演習①「指揮命令系統」 演習②「フェーズに応じた災害時保健活動 について」 講師：自治医科大学看護学部 教授 春山早苗 氏	熊谷保健所拠点 管内市町保健衛 生部門（主に保健 師）及び危機管理 部門の職員 拠点管内保健所 保健師	38名

イ ワーキング活動

平時から連携を強化し、発災時に迅速かつ適切に災害時保健活動が行えるよう熊谷保健所と管内市町の保健師が協働して2つのワーキング活動に取り組んだ。

a 熊谷保健所人材育成研修「地区診断」ワーキング

熊谷保健所及び管内市町の新任期・中堅期保健師5～6名で自治体ごとのグループを作り、地区診断を行うとともに災害発生時の支援の際に活用する「地域特性共有シート」を作成した。

日時・場所	内 容	人数
-------	-----	----

R6. 8. 27 13:30～15:30 熊谷地方庁舎 大会議室	講義「健康危機発生時を見据えた地区診断について」 講師：自治医科大学看護学部 准教授 島田裕子 氏 情報提供「地区診断を効果的に行うために」 情報提供者：熊谷保健所 保健予防推進担当職員 ＊講義のみ熊谷保健所拠点保健所管内の保健師も参加	48名
R6. 8. 27 15:30～16:00 熊谷地方庁舎 大会議室	第1回 ワーキング 【内容】オリエンテーション、活動内容の決定	17名
R6. 9～11月	第2回、第3回 ワーキング 【内容】地区診断の実施 ＊グループ毎に活動日を設定し、集合又はオンラインで活動を行った。	—
R6. 12. 17 13:30～15:00 熊谷地方庁舎 大会議室	中間報告会 【内容】各グループで実施した地区診断について発表 講評：自治医科大学看護学部 准教授 島田裕子 氏	17名
R6. 1～2月	第4回、第5回 ワーキング 【内容】地域特性共有シートの検討、作成 ＊グループ毎に活動日を設定し、集合又はオンラインで活動を行った。	—
R7. 3. 18 13:30～15:00 熊谷地方庁舎 大会議室	報告会 【内容】各グループの活動報告、先輩保健師からのコメント 講評：自治医科大学看護学部 教授 春山早苗 氏 准教授 島田裕子 氏 ＊オンデマンド配信によるオブザーバー参加あり	38名 (内オンデマンド配信参加12名)

b 熊谷保健所人材育成研修「市町村における災害時保健活動マニュアル策定」ワーキング
 熊谷保健所及び管内市町の管理期保健師4～5名で自治体ごとのグループを作り、厚生科学研究班による「市町村における災害時保健活動マニュアルの策定及び活用のためのガイド」を使用して各自治体の「災害時保健活動マニュアル」を作成した。

日時・場所	内 容	人數
-------	-----	----

R6. 8. 30 13:30～15:30 熊谷地方庁舎 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> 講義「ガイドに沿った災害時保健活動マニュアル策定の進め方とその活用について」 講師：自治医科大学看護学部 教授 春山早苗 氏 演習 【内容】オリエンテーション、マニュアル策定作業の内容や手順の検討 <p>* 講義のみ熊谷保健所拠点保健所管内の保健師も参加</p>	35名
R6. 10. 18 10:00～12:00 熊谷保健所 会議室	<p>報告会</p> <p>「ワーキングから見えてきたこと・必要と考えられること」</p> <p>【内容】マニュアル作成の進捗状況について情報交換 疑問点や課題等の意見交換</p>	9名
R7. 1. 30 10:00～12:00 熊谷保健所 会議室	<p>報告会</p> <p>「災害時に保健活動を行うために優先的に行うこと」</p> <p>【内容】課題についての意見交換 次年度の方向性について検討</p>	12名
R7. 3. 18 15:15～16:30 熊谷地方庁舎 大会議室	<p>報告会</p> <p>【内容】各グループの活動報告、意見交換 講評：自治医科大学看護学部 教授 春山早苗 氏 准教授 島田裕子 氏</p> <p>* オンデマンド配信によるオブザーバー参加あり</p>	37名 (内オンデマンド配信参加 12名)

* このほか各グループ3～4回、集合又はオンラインで検討を行った。

III 安心して暮らすための医療の充実

1 医療提供体制の整備

(1) 医療施設数

令和7年3月31日現在

	病院	一般診療所			歯科 診療所	助産所	施術所 (出張専業 を含む)	歯科 技工所
		計	有床	無床				
埼玉県	340 (5)	4,499 (61)	175 (2)	4,324 (58)	3,525 (48)	256 (3)	10,145 (137)	1,078 (14)
管 内	23 (6)	266 (73)	15 (4)	251 (69)	188 (51)	18 (4)	534 (146)	56 (15)
熊谷市	12	151	10	141	109	11	316	28
深谷市	9	94	5	89	63	5	166	21
寄居町	2	21	0	21	16	2	52	7

(2) 病床数

令和7年3月31日現在

	病 院						一般診療所
	計	精神	結核	療養	感染	一般	
埼玉県	63,131 (862)	13,294 (182)	130 (2)	10,988 (150)	130 (1)	38,635 (528)	2,302 (31)
管 内	3,890 (1070)	1,072 (294)	30 (8)	496 (136)	27 (7)	2,265 (623)	198 (54)

(3) 医療従事者数

令和4年12月31日現在

	医師	歯 科 医 師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護 師	歯科技 工 士	歯科衛 生 士
埼玉県	13,661	5,410	16,729	2,311	1,615	54,603	11,003	708	4,438
(比率)	(185.1)	(73.3)	(226.6)	(31.3)	(21.9)	(739.8)	(149.1)	(9.6)	(60.1)
管 内	572	239	776	115	82	2,952	956	15	219
(比率)	(155.8)	(65.1)	(211.4)	(31.3)	(22.3)	(804.3)	(260.5)	(4.1)	(59.7)
熊谷市	322	134	468	52	28	1,759	596	9	142
深谷市	224	80	268	46	53	1,015	304	6	58
寄居町	26	25	40	17	1	178	56	0	19

(資料：政府統計の総合窓口 医師・歯科医師・薬剤師調査等)

* (1) から (3) の () の中は、人口10万人対比の数

* 比率算出に用いた人口は、(1) 及び (2) は令和7年1月1日現在の埼玉県町(丁)字

人口調査により(県7,374,298人、管内363,434人)、(3) は令和4年1月1日現在
の埼玉県町(丁)字人口調査により(県7,381,007人、管内367,050人)

* (2) は医療法第27条に基づく使用許可を受けている病床の数

(4) 医療安全研修会の実施

令和6年度は、なし

(5) 医療安全相談

医療に関する苦情や相談への対応、医療機関の情報を提供した。

令和6年度相談受付件数	51件
-------------	-----

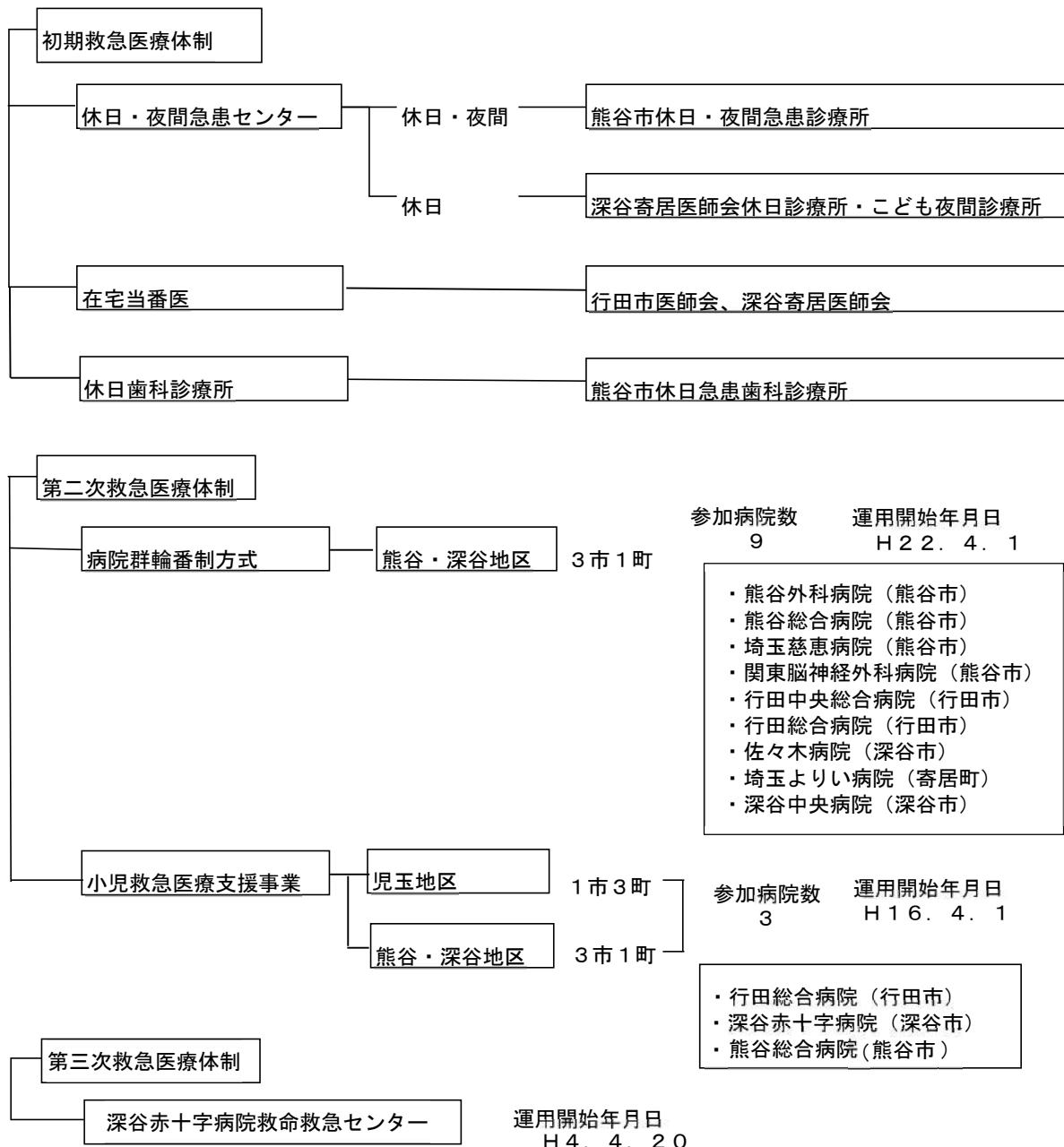
2 免許事務処理状況

令和6年度（単位：件）

厚生労働大臣免許						埼玉県知事免許					
免許の種類	登録	書換	再交付	まっ消	合計	免許の種類	登録	書換	再交付	まっ消	合計
医 師	17	4	0	1	22	栄 養 士	56	17	9	0	82
歯 科 医 師	0	2	0	0	2	准 看 護 師	26	8	7	0	41
保 健 師	21	9	0	0	30	クリーニング師	3	0	0	0	3
助 産 師	6	0	0	0	6	調 理 師	80	14	16	0	110
看 護 師	119	83	6	0	208	製 菓 衛 生 師	36	2	0	0	38
診療放射線技師	12	1	0	0	13	登 錄 販 売 者	38	2	2	0	42
臨 床 検 査 技 師	12	5	0	0	17	診 療 X 線 技 師	0	0	0	0	0
衛 生 検 査 技 師	0	0	0	0	0	【 旧 免 許 】					
理 学 療 法 士	33	14	0	0	47	旧 保 健 師	0	0	0	0	0
作 業 療 法 士	9	3	0	0	12	旧 助 産 師	0	0	0	0	0
視 能 訓 練 士	3	1	0	0	4	旧 看 護 婦	0	0	0	0	0
管 理 栄 養 士	25	12	2	0	39	【 他 知 事 免 許 】					
薬 劑 師	36	12	4	0	52	准 看 護 師	0	2	0	0	2
歯 科 技 工 士	0	0	0	0	0						
合計	293	146	12	1	452	合計	239	45	34	0	318

3 熊谷・深谷地区の救急医療体制

(1) 救急医療体制



【熊谷・深谷地区における重症救急事案の受入に関する協定】H 28. 10. 18締結

休日や夜間帯の重症案件で、深谷赤十字病院が受入れできない場合、埼玉医科大学総合医療センター（川越市）へ患者を転送する。同センターでの治療で急性期を脱した患者については、管内の医療機関への戻り搬送を推進する。

救急告示病院（12病院）

- 熊谷外科病院、熊谷総合病院、埼玉慈恵病院、関東脳神経外科病院、熊谷生協病院（熊谷市 5）
- 深谷赤十字病院、佐々木病院、深谷中央病院、皆成病院（深谷市 4）
- 埼玉よりい病院（寄居町 1）
- 行田中央総合病院、行田総合病院（行田市 2）

搬送困難事案受入医療機関

運用開始年月日
H 28. 4. 1

行田総合病院

(2) 熊谷・深谷地区救急医療対策協議会

熊谷市、行田市、深谷市、寄居町に係る地域救急医療体制の整備促進及び関係機関との連絡調整等を行っている。

日時・場所	内 容	出席数
R7.3.5 19:00～20:00 於 埼玉県熊谷地方庁舎4階 大会議室	1 熊谷・深谷地区の救急医療について 2 重症救急事案の受入に係る協定の運用状況について 3 小児二次救急医療体制について 4 埼玉県の救急医療の取組について	22名 (委員)

(3) 小児救急医療支援事業

小児の二次救急医療は、熊谷・深谷地区と児玉地区の広域において輪番体制で実施している。

小児科医の確保が難しく輪番日の空白が課題となっていたが、平成22年度から県の医師派遣事業が始まり、深谷赤十字病院に小児科の当直医を派遣し、木曜日の当直を行った。

平成26年10月1日からは、小児救急医療支援事業の協力病院であった熊谷総合病院が、医師派遣事業により毎週水曜日に輪番に参加することとなり、2病院から3病院体制で実施可能となった。

さらに、平成27年4月1日からは、日曜日（夜間）も医師派遣事業により深谷赤十字病院で実施することとなった。この結果、輪番日全てに対応可能となった。

その後、平成28年4月1日から、小児科医の不足により、第1・3・5の土曜が空白となっていたが、平成29年4月1日からは、再び、輪番日全てに対応可能となり、現在に至る。

平成29年度～令和6年度小児救急医療支援事業・輪番状況（令和7年3月31日現在）

病院数	輪 番 日							
	月	火	水	木	金	土	日	日
	夜間	夜間	夜間	夜間	夜間	夜間	日中	夜間
3病院	○	○	*○	*○	○	*○	○	*○

*医師派遣事業で実施

(4) 小児二次救急医療担当医会議

小児二次救急医療体制の充実を図るため、輪番体制に参加している3病院と保健所で、意見交換を行った。

日時・場所	内 容	構成機関
R7.3.17 メール会議 【書面開催】	・小児二次救急輪番体制について	3病院、熊谷保健所

(5) 熊谷・深谷・児玉地区市町小児救急医療支援事業担当課長会議

日時・場所	内 容	構成機関
R7.3.17 メール会議 【書面開催】	・小児二次救急輪番体制について	熊谷・本庄保健所 管内市町及び行田市、医療整備課、 熊谷・本庄・加須保健所

4 健康危機管理体制の整備

(1) 広域的な健康危機管理訓練の実施

日時・場所	内 容	対象者	人数
R6.7.16 13:30～16:30 熊谷保健所 地方庁舎4階 大会議室	令和6年度熊谷保健所拠点管内災害対応研修 【内容】講義・演習 (1) 災害時保健活動の基本～自治体職員に求められること～ (2) ①指揮命令系統 ②フェーズに応じた災害時保健活動について 講師：自治医科大学看護学部 春山早苗 氏	熊谷保健所拠点管内市町保健衛生部門（主に保健師）及び危機管理部門の職員 拠点管内保健所保健師	38名

(2) 防災行政無線の通信訓練

日時・場所	内 容	参加機関
R7.3.4 9:30～14:30	熊谷保健所管内の関係機関と防災行政無線（地上系電話・FAX・メール、衛星系電話・FAX）を使用した通信訓練を実施した。	熊谷市危機管理室、深谷市総務防災課、寄居町自治防災課、深谷赤十字病院、熊谷市消防本部、深谷市消防本部、熊谷市医師会、深谷寄居医師会

(3) 衛星携帯電話等の通信訓練

日 時	内 容	参加機関
第1回 R6.6.11	6月から4保健所（鴻巣、熊谷、本庄、秩父）での衛星携帯電話を使った通信訓練及び防災行政無線電話・FAX（地上系・衛星系）による通信訓練を実施。	熊谷・鴻巣・本庄・秩父保健所職員
第2回 R6.8.29		
第3回 R6.10.9		
第4回 R6.12.9		
第5回 R7.2.13		
第6回 R7.3.10		

(4) アクションカードによる所内訓練

日 時	内 容	参加者
第1回 R6. 6. 17	アクションカード連絡員を中心に、熊谷保健所管内で行った。シミュレーションを作成し、小規模な訓練を実施した。	熊谷保健所職員
第2回 R6. 10. 10		
第3回 R7. 2. 18		

(5) EMIS入力訓練

医療整備課が主催する病院及び透析医療機関に対するEMIS入力訓練

<EMIS入力訓練>

日 時	内 容	参加機関
R6. 5. 22	医療整備課が行なう EMIS 訓練に合わせ、該当医療機関の入力状況を確認した。登録 100%には至らなかった。 熊谷保健所管内の医療機関の訓練入力状況は、約 80%だった。	病院 23 機関 透析診療所 10 機関

(6) 北部保健医療圏地域災害保健医療調整会議

日時	内容	参加者
R6. 11. 29 深谷市上柴公民館 大会議室	(1) 災害時連携病院の指定承認願い (2) 北部保健医療圏災害時小児周産期医療対応マニュアルの承認願い (3) 令和 6 年度大規模地震時医療活動訓練の参加報告 (4) 南部保健所主催：令和 6 年度南部保健医療圏災害時小児周産期医療体制情報伝達訓練の参加報告	委員 41 名出席

5 学生実習、医師・歯科医師臨床研修

(1) 看護学生実習の受入れ

学 校 名	期 間	人 数
日本保健医療大学保健医療学部	令和 6 年 5 月 27 日～31 日 5 日間	2 名
東都大学ヒューマンケア学部	令和 6 年 9 月 14 日～18 日 5 日間	3 名

	令和6年9月2日～6日 5日間	3名
早稲田医療技術専門学校保健学科	令和6年9月30日～10月4日 5日間	3名
	令和6年10月7日～11日 5日間	3名

(2) 管理栄養士学生実習の受入れ

学 校 名	期 間	人 数
女子栄養大学栄養学部	令和6年10月16日～31日 内10日間	4名
東都大学管理栄養学部	令和6年10月16日～31日 内5日間	3名

(3) 医学部学生実習の受入れ

学 校 名	期 間	人 数
獨協医科大学	令和6年9月24日～9月27日 4日間	2名

(4) 臨床研修医の受入れ

施 設 名	期 間	人 数
該当なし		

6 医薬品・血液を安定供給するために

(1) 薬事・麻薬関係施設数等

ア 施設数、許可件数等

令和7年3月31日現在（単位：件）

業種 項目	施設数 計	熊谷市	深谷市	寄居町	許可等件数		廃止 件数	監視指 導件数
					新規	更新		
総 数	1,731	991	623	117	57	92	42	329
薬局	191	99	78	14	5	30	1	116
薬局製剤製造販売業／ 製造業	5	4	0	1	0	1	0	1
店舗販売業	82	44	33	5	1	13	2	25
卸売販売業	21	16	5	0	1	2	2	10
再生医療等製品販売業	4	4	0	0	0	0	0	5
医療機器	高度管理	販売業	193	118	66	9	11	13
	高度管理	貸与業	92	55	31	6	5	6
	管理	販売業	904	527	311	66	30	16
	管理	貸与業	57	29	24	4	0	0
毒物劇物	製造業		13	5	5	3	0	3
	輸入業		1	1	0	0	0	0
	販売業	一般	113	64	43	6	4	12
		農業用品目	41	14	25	2	0	10
		特定品目	7	5	1	1	0	2
	電気めっき業		1	1	0	0	0	0
	特定毒物研究者		3	3	0	0	0	0
	特定毒物使用者		3	2	1	0	0	0

イ 麻薬関係施設数等

令和7年3月31日現在

	内 訳	件 数	監視指導件数
麻 薬	麻薬診療施設	136	40
	麻薬管理者	49	
	麻薬施用者	571	
	麻薬研究者	4	1
	麻薬卸売業者	4	6
	麻薬小売業者	153	106
向精神薬	向精神薬卸売業者	0	
	向精神薬研究施設	4	2
覚醒剤	覚醒剤研究者	0	
	覚醒剤原料研究者	2	1
	覚醒剤原料取扱者	7	8

(2) 献血状況

管内各市町や関係団体などの協力を得ながら、献血の推進に努めた。

令和7年3月31日現在 (単位:人)

	採血者数	200ml	400ml	成分献血
移動採血車	熊谷市	3,124	148	2,976
	深谷市	2,758	175	2,583
	寄居町	778	57	721
献血ルーム	7,271	427	4,333	2,511
合 計	13,931	807	10,613	2,511

IV 衛生的で安全な生活環境の確保

1 安全な食品を提供するために

(1) 旧食品衛生法（令和3年6月1日改正前の食品衛生法）に基づく営業施設

ア 営業施設数

令和7年3月31日現在

内訳 業種	計	熊谷市	深谷市	寄居町
	1429	764	537	128
飲食店営業	1085	600	391	94
喫茶店営業	70	23	39	8
菓子製造業	107	52	45	10
あん類製造業	0	0	0	0
アイスクリーム類製造業	3	2	1	0
乳処理業	0	0	0	0
乳製品製造業	1	1	0	0
集乳業	1	0	1	0
乳類販売業	29	15	8	6
食肉処理業	7	4	2	1
食肉販売業	40	19	19	2
食肉製品製造業	1	0	0	1
魚介類販売業	33	17	13	3
魚介類せり売り営業	0	0	0	0
魚肉ねり製品製造業	0	0	0	0
食品の冷凍又は冷蔵業	3	1	1	1
清涼飲料水製造業	1	1	0	0
乳酸菌飲料製造業	0	0	0	0
氷雪製造業	0	0	0	0
氷雪販売業	0	0	0	0
食用油脂製造業	3	1	2	0
みそ製造業	3	2	1	0
醤油製造業	1	1	0	0
ソース類製造業	0	0	0	0
酒類製造業	1	0	1	0
豆腐製造業	5	4	0	1
納豆製造業	0	0	0	0
めん類製造業	10	6	4	0
そうざい製造業	23	13	9	1
かん詰又はびん詰食品製造業	1	1	0	0
添加物製造業	1	1	0	0

(2) 改正食品衛生法（以下「新法」という。）に基づく営業施設

ア 営業施設数

令和7年3月31日現在

内訳 業種	計	熊谷市	深谷市	寄居町
	2823	1538	1043	242
飲食店営業	2204	1243	786	175
調理機能を有する自動販売機	27	16	11	0
食肉販売業	49	25	18	6
魚介類販売業	59	33	22	4
魚介類競り売り営業	0	0	0	0
集乳業	1	1	0	0
乳処理業	1	1	0	0
特別牛乳搾取処理業	0	0	0	0
食肉処理業	16	6	4	6
食品の放射線照射業	0	0	0	0
菓子製造業	235	111	103	21
アイスクリーム類製造業	7	3	1	3
乳製品製造業	2	1	1	0
清涼飲料水製造業	6	1	1	4
食肉製品製造業	5	3	2	0
水産製品製造業	1	1	0	0
氷雪製造業	1	1	0	0
液卵製造業	1	0	0	1
食用油脂製造業	5	3	2	0
みそ又はしょうゆ製造業	8	4	2	2
酒類製造業	6	2	3	1
豆腐製造業	14	10	4	0
納豆製造業	0	0	0	0
麵類製造業	25	11	11	3
そうざい製造業	69	36	27	6
複合型そうざい製造業	5	3	1	1
冷凍食品製造業	3	0	3	0
複合型冷凍食品製造業	2	1	1	0
漬物製造業	53	13	31	9
密封包装食品製造業	6	2	4	0
食品の小分け業	10	7	3	0
添加物製造業	2	0	2	0

イ 新法許可件数（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

(単位：件)

	新規許可件数				継続許可件数			
	計	熊谷市	深谷市	寄居町	計	熊谷市	深谷市	寄居町
総 計	269	154	101	14	333	168	129	36

(3) 新法届出施設等（新法第57条に基づく届出）

ア 施設数

令和7年3月31日現在

	計	熊谷市	深谷市	寄居町
	2098	1082	822	194
旧許可業種であった営業	618	330	224	64
販売業	1064	551	420	93
製造・加工業	179	84	74	21
集団給食施設	214	103	97	14
その他	23	14	7	2

イ 届出件数

(単位：件)

施 設	新規届出数	廃止届出数
総 数	219	85
内訳		
集団給食施設	40	5
その他の営業	179	80

(4) 食中毒発生状況

発生年月日	患者数	原因食品	病因物質	原因施設	措置
令和6年5月26日	14名	おにぎり	黄色ブドウ球菌	販売店	営業停止3日間
令和6年11月29日	42名	不明	ウェルシュ菌	福祉施設	営業停止3日間
令和7年1月19日	1名	刺身	アニサキス	不明	なし
令和7年3月18日	5名	不明	ノロウイルス	飲食店	営業停止3日間

(5) 食中毒予防対策

食品営業者、給食従事者、一般県民等に対して、衛生講習を実施した。

(単位：件)

対象者	実施回数	参加人数
食品営業者、給食従事者	34	1,494人
一般県民等	2	354人

(6) 食品監視・検査業務概況

(単位：件)

	合 計	鴻 巢	熊 谷	本 庄	秩 父
監視対象業種	18,675	6,327	6,761	2,816	2,771
監視業種数	2,748	792	1,274	267	415
無許可営業発見数	0	0	0	0	0
違反施設発見数	0	0	0	0	0
収去検査検体数	196	45	70	31	25
収去品不適検体数	0	0	0	0	0

(7) 違反食品などの発見、処理件数

		合 計	監視発見	収去発見		通報・届出						
				管 内 製 品	管 外 製 品	管 内 製 品	管 外 製 品	管 内 外	管 外	県 外		
	発見・通報・届出数	85	33	31	0	0	2	0	52	40	2	10
	合 計	85	33	31	0	0	2	0	52	40	2	10
違反理由	計	45	33	31	0	0	2	0	12	3	2	7
	不衛生食品等の販売等の禁止	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	化学的合成品等の販売等の制限	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	食品等の規格及び基準	7	0	0	0	0	0	0	7	0	2	5
	有毒器具等の販売等の禁止	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	器具等の規格及び基準	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	表示の基準	37	33	31	0	0	2	0	4	3	0	1
	虚偽の又は誇大な表示・広告の禁止	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の違反	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	計	40	0	0	0	0	0	0	40	37	0	3
	苦情	40	0	0	0	0	0	0	40	37	0	3
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	処 理 数	85	33	31	0	0	2	0	52	40	2	10
	合 計	85	33	31	0	0	2	0	52	40	2	10
行政処分	計	8	0	0	0	0	0	0	8	1	2	5
	営業許可の取消	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	営業の禁停止	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	食品等の廃棄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	食品等の返品	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
	食品等の回収	7	0	0	0	0	0	0	7	0	2	5
	食品等の移動停止	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
処理内容	計	69	33	31	0	0	2	0	36	36	0	0
	始末書など	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	口頭説諭	69	33	31	0	0	2	0	36	36	0	0
その他	計	8	0	0	0	0	0	0	8	3	0	5
	調査指導依頼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	現地調査指導など	5	0	0	0	0	0	0	5	2	0	3
	その他	3	0	0	0	0	0	0	3	1	0	2

- 注:
- 同じ食品などで違反理由が重複した場合は、すべて計上する。
 - 同じ施設で行政処分が重複した場合は、すべて計上する。
 - 同じ施設で行政処分とその他の処理が重複した場合は、行政処分だけを計上する。
 - 同じ施設でその他の処理だけで項目が重複した場合は、上位一つを計上する。

2 安全で良質な水を供給するために

水道等の衛生管理の指導

(単位：件)

種 別	検査数	適	不 適	適合率 (%)
総 数	19	16	3	84.2
上水道	0	0	0	0
専用水道	0	0	0	-
簡易専用水道	1	1	0	100
自家用水道	0	0	0	-
その他の水道	0	0	0	-
井戸水等	18	15	3	83.3

3 衛生的な生活環境を確保するために

環境衛生施設

令和7年4月1日現在

内 訳		合 計	熊谷市	深谷市	寄居町	立入検査数
種 別		1520	833	551	136	455
理容所		321	174	114	33	139
美容所		806	420	328	58	178
クリーニング所	一般・特定	40	21	15	4	28
	取次所	86	53	23	10	31
公衆浴場	一 般	2	1	1	0	1
	その他	41	23	10	8	28
興行場		10	8	2	0	2
旅館業	旅館・ホテル	65	35	20	10	28
	簡易宿所	3	1	0	2	1
上水道		3	1	1	1	0
簡易水道		0	0	0	0	0
専用水道		0			0	0
自家用水道		8	8	0	0	0
特定建築物		94	64	20	10	
建築物事業登録		31	18	13	0	8
遊泳用プール（通年施設）		10	6	4	0	11

4 人と動物が共生する社会づくりを進めるために

狂犬病の発生予防及び蔓延を防止するため、市町及び管内獣医師の協力を得て、飼い犬の登録と狂犬病の予防注射の徹底を図っている。

また、熊谷保健所管内は犬の苦情件数、収容件数とも、県内でも多いため、犬の正しい飼い方の普及啓発を実施している。

(1) 犬の登録、狂犬病予防注射及び苦情などの状況

(単位：件)

	計	熊谷市	深谷市	寄居町	管外
年度末登録数	19,222	10,034	7,053	2,135	
注射済票交付数	13,361	6,725	5,637	999	
苦情総数	497	224	172	56	45
内訳	捕獲依頼	75	35	27	13 0
	犬の引取り依頼	23	16	3	3 1
	放し飼い取締依頼	20	9	8	3 0
	咬傷事件関係	19	6	10	2 1
	家畜農作物の被害	0	0	0	0 0
	糞尿関係	26	19	7	0 0
	鳴き声	37	16	17	3 1
	その他	297	123	100	32 42

(2) 抑留犬・収容犬の状況

(単位：件)

	計	熊谷市	深谷市	寄居町	管外
抑留犬総数	36	18	12	6	
内訳	捕獲数	36	18	12	6
	飼養放棄犬	0	0	0	
	返還犬数	23	11	9	1 2

(3) 特定動物（危険な動物）飼養状況

令和7年3月31日現在

許可施設数	動物の種類	頭数(匹)	飼養目的
3	ワニガメ	6	愛がん、展示用
2	ブラジルカイマン	2	愛がん、展示用
1	イヌワシ×ソウゲンワシ	1	展示用
1	メガネカイマン	2	展示用

(4) 動物取扱業登録施設数

令和7年3月31日現在

	計	熊谷市	深谷市	寄居町
第一種動物取扱業	173	75	81	17
第二種動物取扱業	6	5	1	0

参 考 资 料

○ 人口動態統計

(1) 人口動態総覧

令和5年(単位：人、%)

区分		全 国 ¹	県	管 内	熊谷市	深谷市	寄居町
人 口	総 数	121,193,394	7,113,000	362,338	191,173	139,764	31,401
出 生	率	6.0	5.9	5.0	4.8	5.4	4.7
	総 数	727,288	42,108	1,813	909	755	149
死 亡	率	13.0	11.8	13.8	13.5	13.8	15.5
	総 数	1,576,016	83,597	4,997	2,582	1,929	486
自然増減	率	△7.0	△5.8	△8.8	△ 8.8	△8.4	△10.7
	総 数	△848,728	-41,489	-3,184	-1,673	-1,174	-337
乳児死亡	率	1.8	1.6	1.1	1.1	1.3	—
	総 数	1,326	69	2	1	1	—
新生児死亡	率	0.8	0.8	—	—	—	—
	総 数	600	35	—	—	—	—
死 産	率	20.9	22.2	18.4	16.2	20.8	19.7
	総 数	15,534	955	34	15	16	3
周産期死亡	率	3.3	3.2	1.1	1.1	1.3	—
	総 数	2,404	135	2	1	1	—
	妊娠満22週以後の死産	1,943	104	2	1	1	—
	早期新生児死亡	461	31	—	—	—	—
婚 姻	率	3.9	3.9	3.2	3.4	3.1	2.5
	総 数	474,741	27,531	1,157	650	429	78
離 婚	率	1.52	1.50	1.40	1.40	1.38	1.56
	総 数	183,814	10,697	509	267	193	49
合計特殊出生率		1.20	1.14	1.05	0.99	1.13	1.07

【資料】令和5年 埼玉県保健統計年報 第2編 統計資料(第1章 人口動態統計)第1-4表 人口動態総覧
(保健所・市区町村・二次保健医療圏別)

<比率の解説>

出生・死亡・婚姻・離婚の率 = (件数 / 人口) × 1,000

※ 死因別死亡率については、(件数 / 人口) × 100,000

¹令和5年(2023) 人口動態統計(確定数)の概況 第1表(人口動態総覧)

[03_h1.pdf](#)

乳児死亡率 = (乳児死亡数 / 出生数) × 1,000

※ 乳児死亡は生後1年未満の死亡

新生児死亡率 = (新生児死亡数 / 出生数) × 1,000

※ 新生児死亡は生後4週未満の死亡

自然増減率 = (自然増減数 / 人口) × 1,000

※ 自然増減数は出生から死亡を減じた数

死産率 = (死産数 / 出産数) × 1,000

※ 出産数は出生数に死産数を加えた数

周産期死亡率 = [(後期死産数 + 早期新生児死亡数) / (出生数 + 後期死産数)] × 1,000

※ 後期死産は妊娠満22週以後の死産

※ 早期新生児死亡は生後1週未満の死亡

合計特殊出生率 = (母の年齢階級別出生数 / 年齢階級別女子人口)

※ 上記の15歳～49歳までの合計

<比率算出に用いた人口>

全国、埼玉県 … 「令和5年人口動態統計(確定数)の概況」(厚生労働省)

管内、市町 …「令和5年埼玉県の人口動態概況(確定数)」(埼玉県保健医療部保健医療政策課)

<統計表の表章記号>

— 計数のない場合 △ 減を表す場合

(2) 管内人口動態の概況(対前年比較)

	総数			率		
	令和5年	令和4年	増減	令和5年	令和4年	増減
出生	1,813	1,902	△89	5.0	5.2	△0.2
死亡	4,997	4,902	95	13.8	13.5	0.3
自然増減	3,184	3,000	184	8.8	8.2	0.6
乳児死亡	2	4	△2	1.1	2.1	△1
新生児死亡	—	2	△2	—	1.1	△1.1
死産	34	41	△7	18.4	21.1	△2.7
周産期死亡	2	7	△5	1.1	3.7	△2.6
婚姻	1,157	1,230	△73	3.2	3.4	△0.2
離婚	509	457	52	1.40	1.26	0.14
合計特殊出生率	—	—	—	1.05	1.10	△0.05

● 出生数 <減少>

出生数は 1,813 人で前年に比べ 89 人減少し、出生率は人口千人に対し 5.0 で、前年と比べ 0.2 ポイント減少した。

● 死亡数 <増加>

死亡数は 4,997 人で前年に比べ 95 人増加し、死亡率は人口千人に対し 13.8 で、前年と比べ 0.3 ポイント增加了。

● 乳児死亡数 <減少>

乳児死亡数は 2 人で前年に比べ 2 人減少し、乳児死亡率は出生千人に対し 1.1 で、前年と比べ 1 ポイント減少した。

● 新生児死亡数 <減少>

新生児死亡数は 0 人で前年に比べ 2 人減少し、新生児死亡率は出生千人に対し 0 で、前年から 1.1 ポイント減少した。

● 自然増減数 <減少>

出生数と死亡数の差である自然増減数は△3,184 人で前年の△3,000 人より 184 人減少し、自然増減率は人口千人に対し△8.8 ポイントで、前年の△8.2 ポイントより低下した。

● 死産数 <減少>

死産数は 34 胎で前年に比べ 7 胎減少し、死産率は出産(出生+死産)千人(胎)に対し 18.4 で、前年と比べ 2.7 ポイント減少した。

● 周産期死亡数 <減少>

周産期死亡数は 2 人(胎)で前年と比べ 5 人(胎)減少し、周産期死亡率は出産千人(胎)に対し 1.1 で、2.6 ポイント減少した。

● 婚姻件数 <減少>

婚姻件数は 1,157 件で前年に比べ 73 件減少し、婚姻率は人口千人に対し 3.2 で、前年と比べて 0.2 ポイント減少した。

● 離婚件数 <増加>

離婚件数は 509 件で前年に比べ 52 件増加し、離婚率は人口千人に対し 1.40 で、前年と比べ 0.14 ポイント增加了。

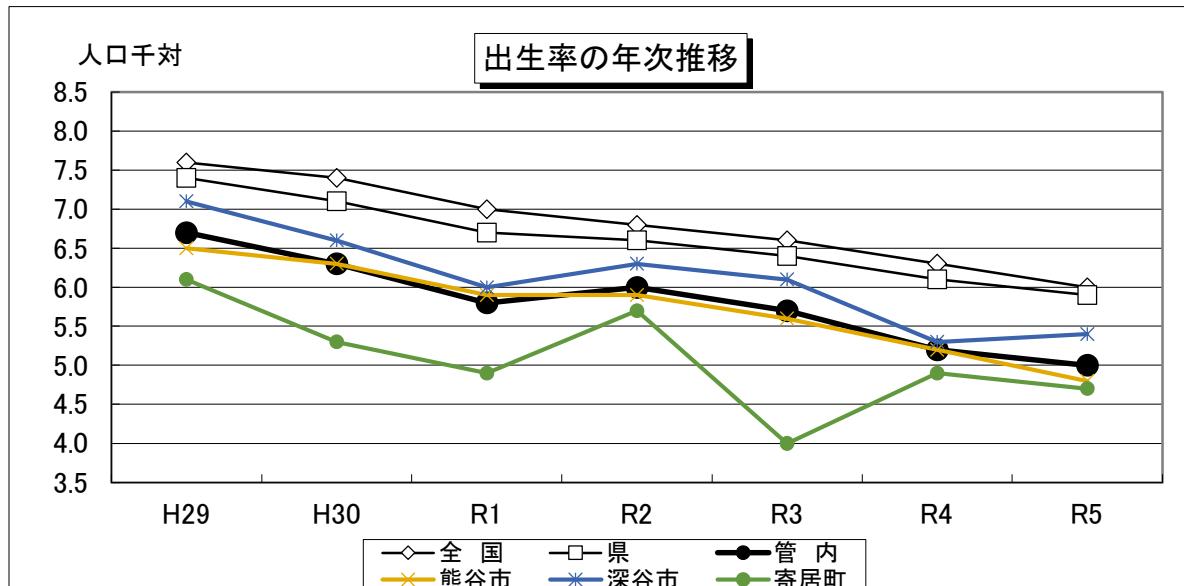
● 合計特殊出生率 <減少>

合計特殊出生率は 1.05 で、前年と比べ 0.05 ポイント減少した。

(3) 出生

ア 出生率の年次推移(人口千対)

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
全 国	7.6	7.4	7.0	6.8	6.6	6.3	6.0
県	7.4	7.1	6.7	6.6	6.4	6.1	5.9
管 内	6.7	6.3	5.8	6.0	5.7	5.2	5.0
熊谷市	6.5	6.3	5.9	5.9	5.6	5.2	4.8
深谷市	7.1	6.6	6.0	6.3	6.1	5.3	5.4
寄居町	6.1	5.3	4.9	5.7	4.0	4.9	4.7



イ 体重階級別出生数

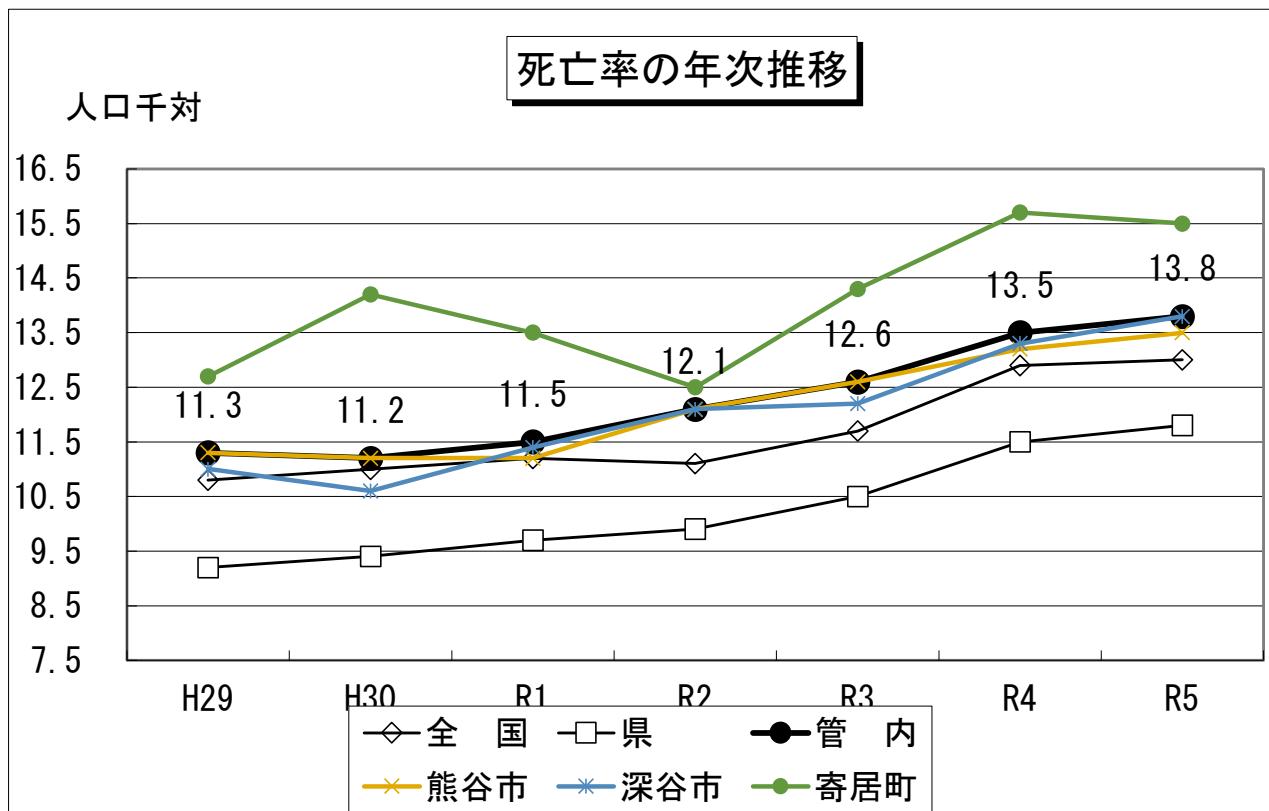
		総数	1, 5kg 未満	1. 5~1. 9	2. 0~2. 4	2. 5~2. 9	3. 0~3. 4	3. 5~3. 9	4. 0kg 以上
管 内	平成 28 年	2, 634	13	28	231	1. 078	1, 054	219	11
	平成 29 年	2, 500	21	39	211	1, 004	985	220	20
	平成 30 年	2, 352	13	29	161	960	965	214	10
	令和元年	2, 154	20	25	173	873	869	182	12
	令和 2 年	2, 169	23	27	188	855	858	210	8
	令和 3 年	2, 071	11	33	161	809	858	188	11
令 和 4 年	管 内	1, 902	8	31	166	770	768	148	11
	熊 谷 市	1, 004	5	16	76	393	422	85	7
	深 谷 市	742	3	12	72	319	288	45	3
	寄 居 町	156	0	3	18	58	58	18	1

注)4kg 以上には不詳含む。

(4) 死亡

ア 死亡率の年次推移(人口千対)

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
全 国	10.8	11.0	11.2	11.1	11.7	12.9	13.0
県	9.2	9.4	9.7	9.9	10.5	11.5	11.8
管 内	11.3	11.2	11.5	12.1	12.6	13.5	13.8
熊谷市	11.3	11.2	11.2	12.1	12.6	13.2	13.5
深谷市	11.0	10.6	11.4	12.1	12.2	13.3	13.8
寄居町	12.7	14.2	13.5	12.5	14.3	15.7	15.5



イ 死亡順位 5 位までの死亡数及び死亡率(人口 10 万人対)

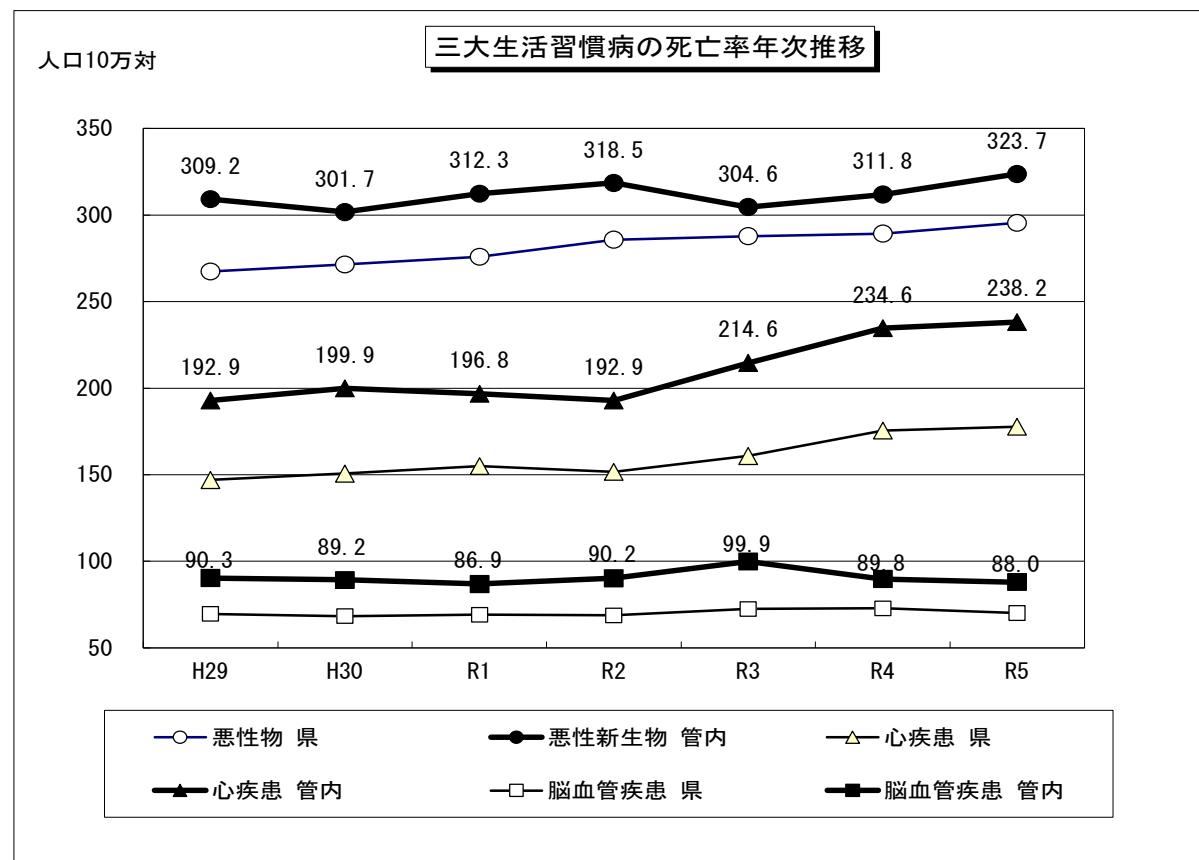
令和5年

	順 位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	総数
県 ²	死 因	悪性新生物	心 疾 患	老 衰	脳血管疾患	肺 炎	
	実数(人)	21,009	12,641	9,338	4,992	4,933	83,597
	割合(率)	25.13%	15.12%	11.17%	5.97%	5.90%	100.00%
	死亡率 ³	295.4	177.7	131.3	70.1	69.4	1175.3
管 内	死 因	悪性新生物	心 疾 患	老 衰	心不全	肺 炎	
	実数(人)	1,173	863	519	449	354	4,997
	割合(率)	23/47%	17.27%	10.39%	8.99%	7.08%	100.00%
	死亡率	323.7	238.2	143.2	123.9	96.7	1379.1
熊 谷 市	死 因	悪性新生物	心 疾 患	老 衰	心不全	脳血管疾患	
	実数(人)	600	444	231	225	182	2,582
	割合(率)	23.24%	17.20%	8.95%	8.71%	7.05%	100.00%
	死亡率	313.9	232.3	120.8	117.7	95.2	1350.6
深 谷 市	死 因	悪性新生物	心 疾 患	老 衰	心不全	肺 炎	
	実数(人)	442	344	241	185	140	1,929
	割合(率)	22.91%	17.83%	12.49%	9.59%	7.26%	100.00%
	死亡率	316.2	246.1	172.4	132.4	100.2	1380.2
寄 居 町	死 因	悪性新生物	心 疾 患	老 衰	心不全	肺 炎	
	実数(人)	131	75	47	39	35	486
	割合(率)	26.95%	15.43%	9.67%	8.02%	7.20%	100.00%
	死亡率	417.2	238.8	149.7	124.2	111.5	1547.7

² 令和5年埼玉県保健統計年報 第2編統計資料 第一章 人口動態統計 第1-12表 死亡数(死因(選択死因)・性・保健所 市町村別)

³ 実数(人)/人口×100000

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	
悪性新生物	県	267.4	271.4	275.9	285.8	287.7	289.2	295.4
	管内	309.2	301.7	312.3	318.5	304.6	311.8	323.7
	熊谷市	318.4	294.1	288.8	308.5	314.4	312.8	313.9
	深谷市	293.7	291.3	323.3	315.1	278.5	289.7	316.2
	寄居町	321.1	391.6	405.2	392.4	360.9	403.9	417.2
心疾患	県	146.9	150.6	155.0	151.6	160.9	175.5	177.7
	管内	192.9	199.9	196.8	192.9	214.6	234.6	238.2
	熊谷市	206.2	203.2	202.1	193.7	214.8	224.9	232.3
	深谷市	169.9	179.7	191.6	190.7	246.1	234.8	234.8
	寄居町	213.0	267.1	187.3	197.8	222.8	293.4	238.8
脳血管疾患	県	69.6	68.4	69.2	68.8	72.5	72.9	70.1
	管内	90.3	89.2	86.9	90.2	99.9	89.8	88.0
	熊谷市	89.4	90.4	85.7	90.6	93.9	90.6	95.2
	深谷市	83.9	87.0	76.8	90.2	97.3	87.8	76.5
	寄居町	123.0	91.1	138.1	91.0	147.5	94.7	95.5



工 死因別死亡数(死因分類)

分類コード	死 因	管 内	熊谷市	深谷市	寄居町
	総数	4 997	2 582	1 829	486
01000	感染症及び寄生虫症	74	37	29	8
01100	腸管感染症	2	—	—	2
01200	結核	6	3	3	—
01201	呼吸器結核	6	3	3	—
01202	その他の結核	—	—	—	—
01300	敗血症	39	23	10	6
01400	ウイルス性肝炎	7	3	4	—
01401	B型ウイルス性肝炎	2	1	1	—
01402	C型ウイルス性肝炎	3	2	1	—
01403	その他のウイルス性肝炎	2	—	2	—
01500	ヒト免疫不全ウイルス[HIV]病	—	—	—	—
01600	その他の感染症及び寄生虫症	20	8	12	—
02000	新生物＜腫瘍＞	1 209	617	458	134
02100	悪性新生物＜腫瘍＞	1 173	600	442	131
02101	口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞	24	13	11	—
02102	食道の悪性新生物＜腫瘍＞	23	13	7	3
02103	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	121	61	43	17
02104	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	111	56	39	16
02105	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	67	39	23	5
02106	肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞	61	37	19	5
02107	胆のう及びその他の胆道の悪性新生物＜腫瘍＞	62	31	26	5
02108	膵の悪性新生物＜腫瘍＞	120	56	49	15
02109	喉頭の悪性新生物＜腫瘍＞	3	1	1	1
02110	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	230	130	78	22
02111	皮膚の悪性新生物＜腫瘍＞	7	3	3	1
02112	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	56	30	23	3
02113	子宮の悪性新生物＜腫瘍＞	21	8	12	1
02114	卵巣の悪性新生物＜腫瘍＞	21	12	9	—
02115	前立腺の悪性新生物＜腫瘍＞	39	17	13	9
02116	膀胱の悪性新生物＜腫瘍＞	27	11	14	2
02117	中枢神経系の悪性新生物＜腫瘍＞	10	6	4	—
02118	悪性リンパ腫	56	23	24	9
02119	白血病	25	17	8	—
02120	その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物＜腫瘍＞	11	5	4	2
02121	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	78	31	32	15
02200	その他の新生物＜腫瘍＞	36	17	16	3
02201	中枢神経系のその他の新生物＜腫瘍＞	13	8	4	1
02202	中枢神経系を除くその他の新生物＜腫瘍＞	23	9	12	2
03000	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	10	4	3	3
03100	貧血	7	3	2	2
03200	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3	1	1	1
04000	内分泌、栄養及び代謝疾患	76	44	29	3
04100	糖尿病	51	24	25	2
04200	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	25	20	4	1
05000	精神及び行動の障害	78	33	37	8
05100	血管性及び詳細不明の認知症	69	31	31	7
05200	その他の精神及び行動の障害	9	2	6	1
06000	神経系の疾患	153	94	48	11
06100	髄膜炎	1	—	1	—
06200	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	8	6	1	1
06300	パーキンソン病	30	16	8	6
06400	アルツハイマー病	64	37	26	1
06500	その他の神経系の疾患	50	35	12	3
07000	眼及び付属器の疾患	—	—	—	—
08000	耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—
09000	循環器系の疾患	1 290	685	491	114
09100	高血圧性疾患	34	17	14	3
09101	高血圧性心疾患及び心腎疾患	17	10	6	1
09102	その他の高血圧性疾患	17	7	8	2
09200	心疾患(高血圧性を除く)	863	444	344	75
09201	慢性リウマチ性心疾患	5	4	1	—
09202	急性心筋梗塞	166	124	37	5
09203	その他の虚血性心疾患	123	30	75	18
09204	慢性非リウマチ性心内膜疾患	29	13	10	6
09205	心筋症	8	5	2	1
09206	不整脈及び伝導障害	65	34	28	3
09207	心不全	449	225	185	39
09208	その他の心疾患	18	9	6	3
09300	脳血管疾患	319	182	107	30
09301	くも膜下出血	28	16	9	3

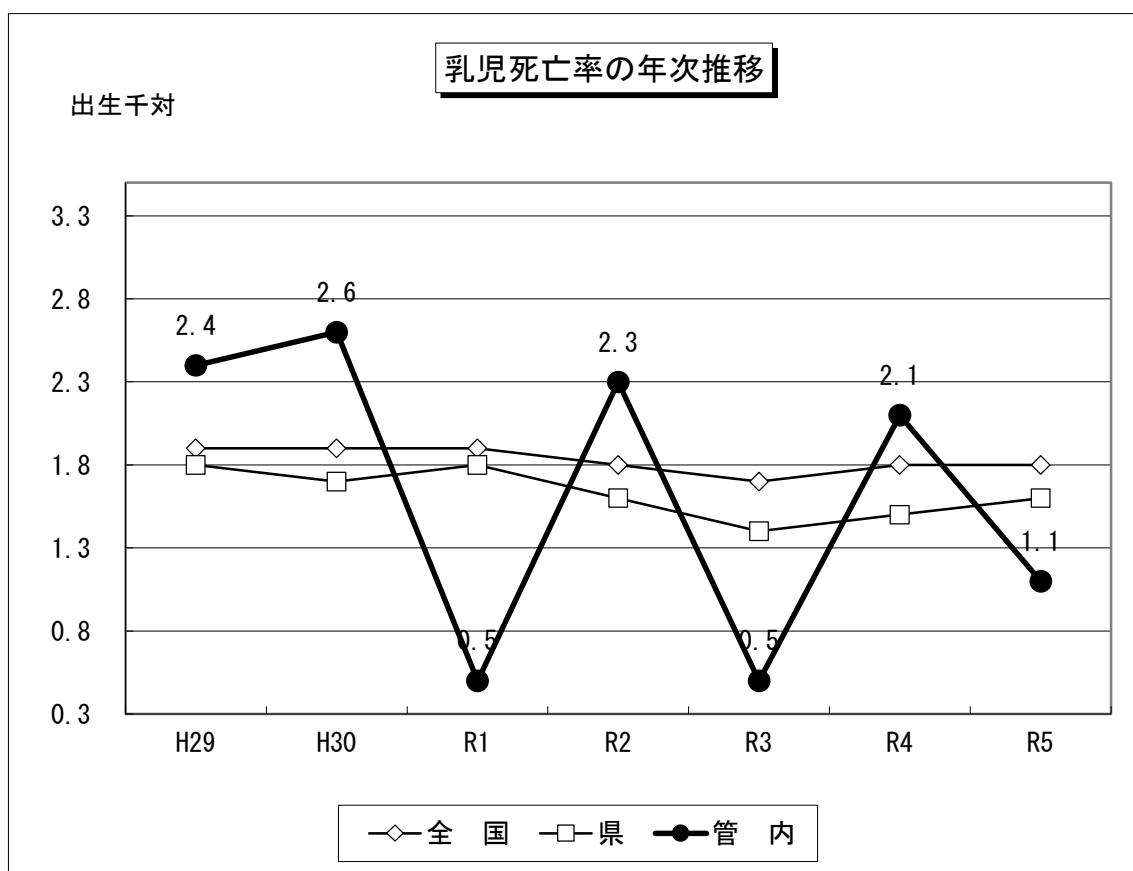
09302	脳内出血	108	62	38	8
09303	脳梗塞	178	101	58	19
09304	その他の脳血管疾患	5	3	2	-
09400	大動脈瘤及び解離	54	33	17	4
09500	その他の循環器系の疾患	20	9	8	2
10000	呼吸器系の疾患	737	386	274	77
10100	インフルエンザ	4	2	2	-
10200	肺炎	354	179	140	35
10300	急性気管支炎	-	-	-	-
10400	慢性閉塞性肺疾患	47	22	20	5
10500	喘息	5	3	2	-
10600	その他の呼吸器系の疾患	327	180	110	37
10601	誤嚥性肺炎	188	104	63	21
10602	間質性肺疾患	84	46	31	7
10603	その他の呼吸器系の疾患(10601及び10602を除く)	55	30	16	9
11000	消化器系の疾患	171	87	62	22
11100	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	9	6	2	1
11200	ヘルニア及び腸閉塞	23	11	11	1
11300	肝疾患	52	25	23	4
11301	肝硬変(アルコール性を除く)	26	12	13	1
11302	その他の肝疾患	26	13	10	3
11400	その他の消化器系の疾患	87	45	26	16
12000	皮膚及び皮下組織の疾患	10	5	4	1
13000	筋骨格系及び結合組織の疾患	30	15	12	3
14000	腎尿路生殖器系の疾患	150	85	53	12
14100	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	14	10	4	-
14200	腎不全	84	47	31	6
14201	急性腎不全	9	5	3	1
14202	慢性腎不全	62	35	23	4
14203	詳細不明の腎不全	13	7	5	1
14300	その他の腎尿路生殖器系の疾患	52	28	18	6
15000	妊娠、分娩及び産じょく	-	-	-	-
16000	周産期に発生した病態	-	-	-	-
16100	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	-	-	-	-
16200	出産外傷	-	-	-	-
16300	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	-	-	-	-
16400	周産期に特異的な感染症	-	-	-	-
16500	胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	-	-	-	-
16600	その他の周産期に発生した病態	-	-	-	-
17000	先天奇形、変形及び染色体異常	3	3	-	-
17100	神経系の先天奇形	-	-	-	-
17200	循環器系の先天奇形	2	2	-	-
17201	心臓の先天奇形	1	1	-	-
17202	その他の循環器系の先天奇形	1	1	-	-
17300	消化器系の先天奇形	-	-	-	-
17400	その他の先天奇形及び変形	-	-	-	-
17500	染色体異常、他に分類されないもの	1	1	-	-
18000	症状、徵候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	678	312	297	69
18100	老衰	519	231	241	47
18200	乳幼児突然死症候群	1	1	-	-
18300	その他の症状、徵候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	158	80	56	22
20000	傷病及び死亡の外因	224	117	90	17
20100	不慮の事故	127	65	50	12
20101	交通事故	10	5	4	1
20102	転倒・転落・墜落	50	26	21	3
20103	不慮の溺死及び溺水	14	7	5	-
20104	不慮の窒息	24	13	8	3
20105	煙、火及び火炎への曝露	6	3	1	2
20106	有害物質による不慮の中毒及び有害物質への曝露	2	-	1	1
20107	その他の不慮の事故	21	11	8	2
20200	自殺	74	38	31	5
20300	他殺	1	1	-	-
20400	その他の外因	22	13	9	-

【参照】令和5年 埼玉県保健統計年報 第2編 統計資料(第1章 人口動態統計)
参考表 死亡数(年齢(5歳階級)・性・死因(死因簡単分類)) 2023年

(5) 乳児死亡

ア 乳児死亡率の年次推移(出生千対)

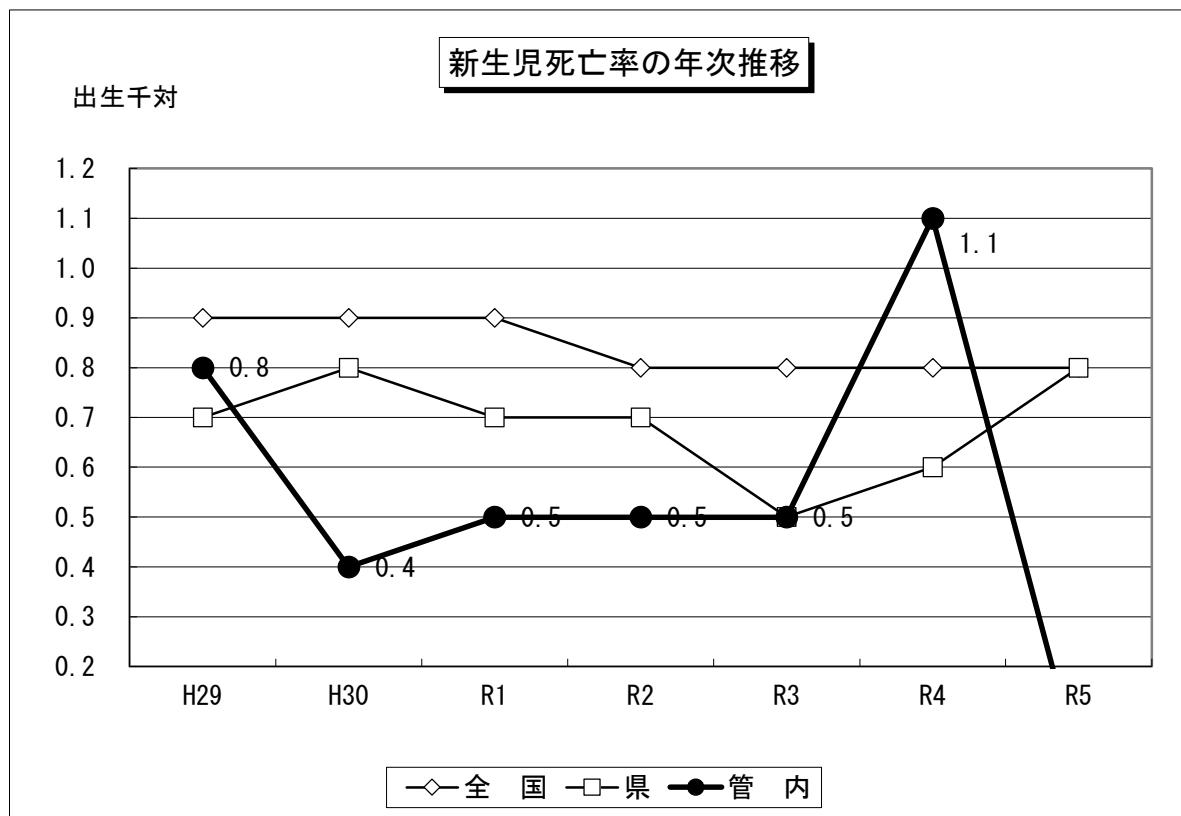
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
全 国	1.9	1.9	1.9	1.8	1.7	1.8	1.8
県	1.8	1.7	1.8	1.6	1.4	1.5	1.6
管 内	2.4	2.6	0.5	2.3	0.5	2.1	1.1
熊谷市	3.1	3.2	-	3.6	-	1.0	1.1
深谷市	1.0	1.1	1.2	1.2	1.2	2.7	1.3
寄居町	4.9	5.7	-	-	-	6.4	-



(6) 新生児死亡

ア 新生児死亡率の年次推移(出生千対)

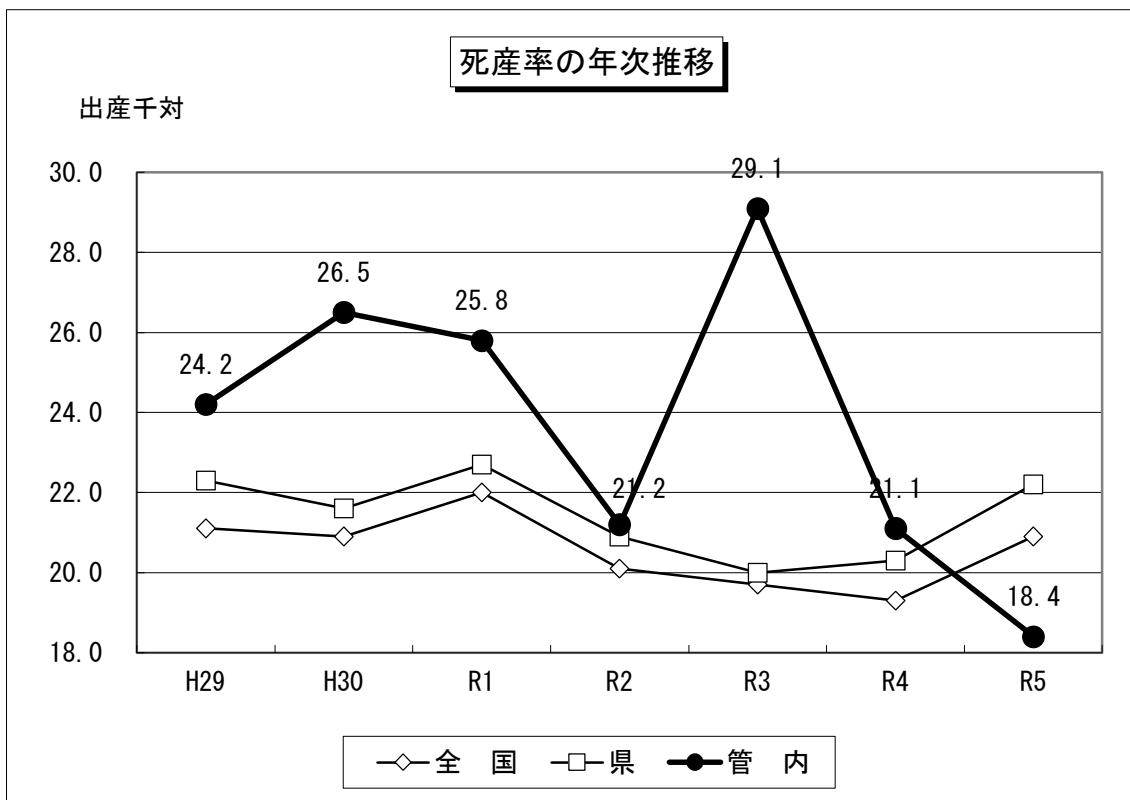
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
全 国	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8
県	0.7	0.8	0.7	0.7	0.5	0.6	0.8
管 内	0.8	0.4	0.5	0.5	0.5	1.1	-
熊谷市	1.6	-	-	-	-	1.0	-
深谷市	-	-	1.2	1.2	1.2	1.3	-
寄居町	-	5.7	-	-	-	-	-



(7) 死産

ア 死産率の年次推移(出産千対)

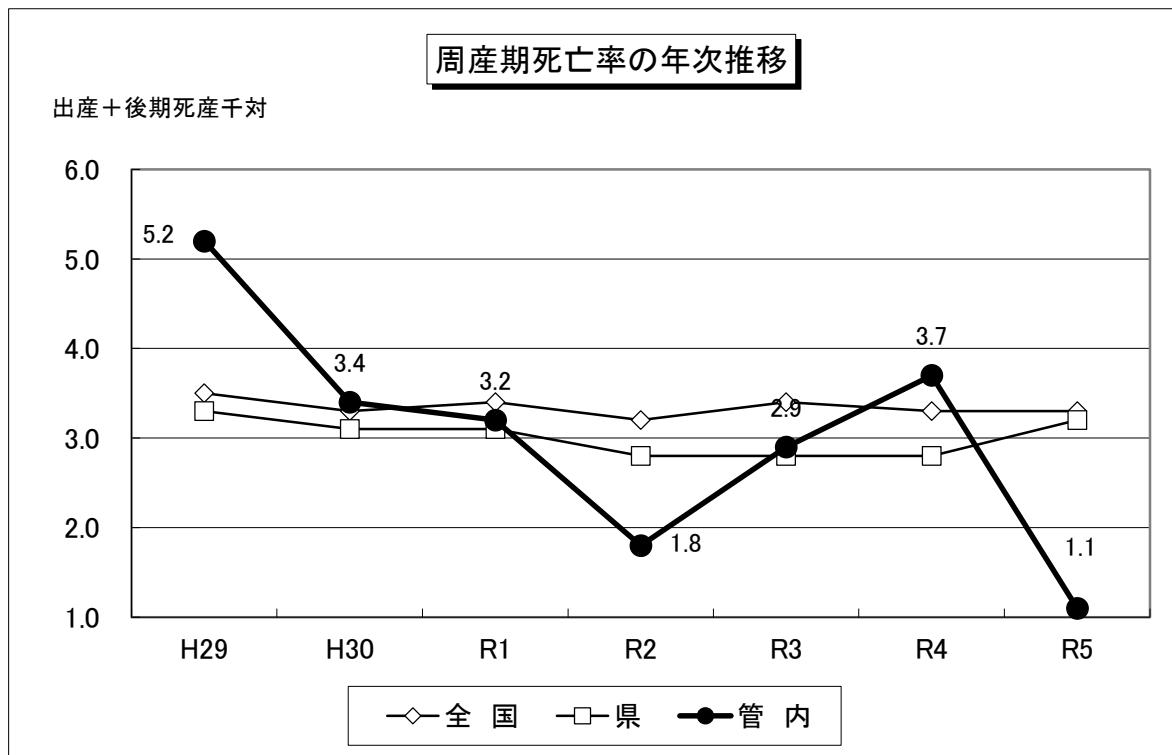
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
全 国	21.1	20.9	22.0	20.1	19.7	19.3	20.9
県	22.3	21.6	22.7	20.9	20.0	20.3	22.2
管 内	24.2	26.5	25.8	21.2	29.1	21.1	18.4
熊谷市	24.4	22.9	21.4	24.5	28.6	27.1	16.2
深谷市	27.6	28.9	29.6	15.9	28.3	15.9	20.8
寄居町	4.9	38.7	36.4	26.6	37.3	6.4	19.7



(8) 周産期死亡

ア 周産期死亡率の年次推移(出生+後期死産千対)

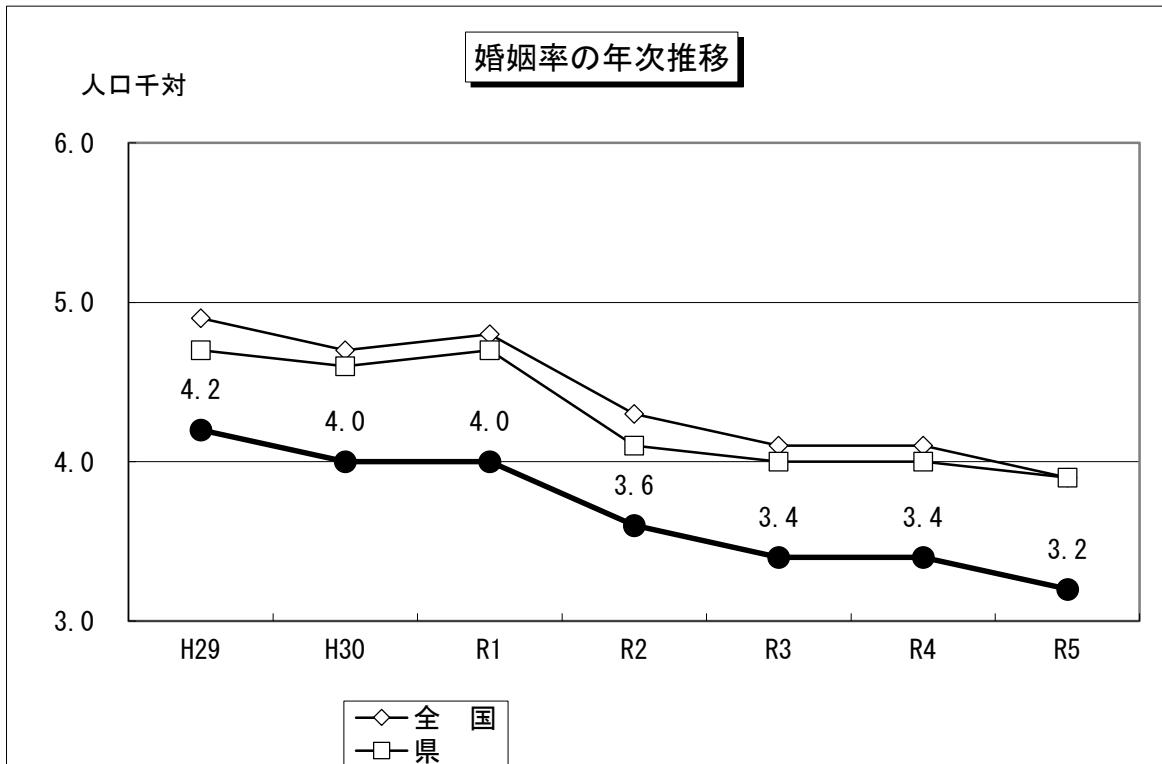
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
全 国	3.5	3.3	3.4	3.2	3.4	3.3	3.3
県	3.3	3.1	3.1	2.8	2.8	2.8	3.2
管 内	5.2	3.4	3.2	1.8	2.9	3.7	1.1
熊谷市	4.7	4.0	4.4	2.7	1.8	3.0	1.1
深谷市	6.8	-	2.3	-	4.7	4.0	1.3
寄居町	-	17.0	-	5.4	-	6.4	-



(9) 婚姻

ア 婚姻率の年次推移(人口千対)

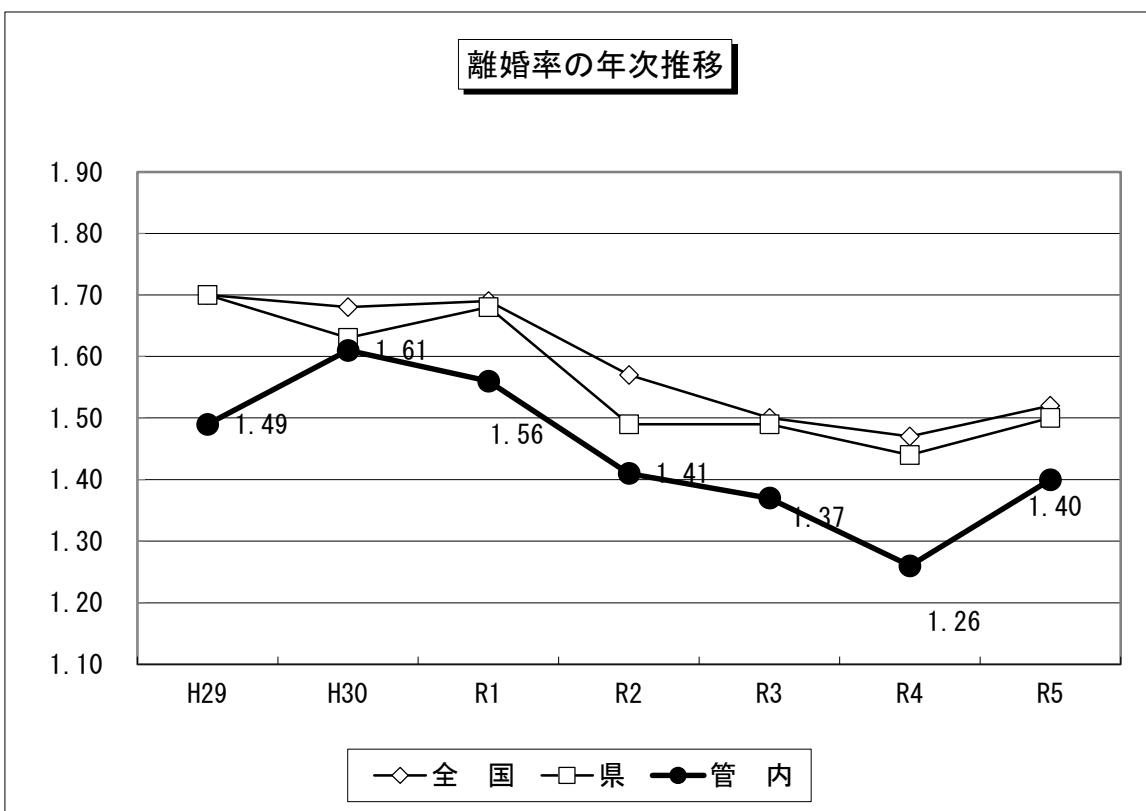
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
全 国	4.9	4.7	4.8	4.3	4.1	4.1	3.9
県	4.7	4.6	4.7	4.1	4.0	4.0	3.9
管 内	4.2	4.0	4.0	3.6	3.4	3.4	3.2
熊谷市	4.2	4.2	4.3	3.8	3.5	3.6	3.4
深谷市	4.2	3.9	3.8	3.4	3.3	3.2	3.1
寄居町	4.0	3.0	3.4	3.1	2.2	2.9	2.5



(10) 離婚

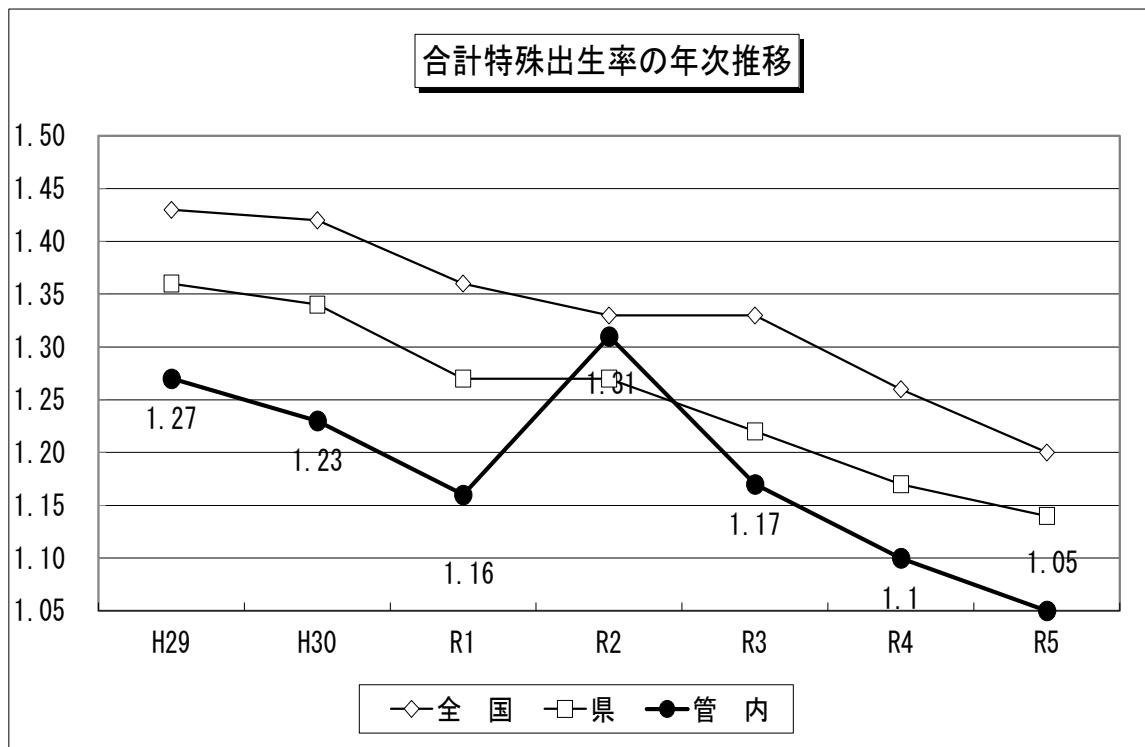
ア 離婚率の年次推移(人口千対)

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
全 国	1.70	1.68	1.69	1.57	1.50	1.47	1.52
県	1.70	1.63	1.68	1.49	1.49	1.44	1.50
管 内	1.49	1.61	1.56	1.41	1.37	1.26	1.40
熊谷市	1.52	1.59	1.48	1.45	1.32	1.36	1.40
深谷市	1.49	1.61	1.63	1.36	1.41	1.05	1.38
寄居町	1.38	1.70	1.69	1.41	1.48	1.51	1.56



(11) 合計特殊出生率の年次推移

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
全 国	1.43	1.42	1.36	1.33	1.33	1.26	1.20
県	1.36	1.34	1.27	1.27	1.22	1.17	1.14
管 内	1.27	1.23	1.16	1.31	1.17	1.1	1.05
熊谷市	1.22	1.22	1.16	1.27	1.16	1.1	0.99
深谷市	1.34	1.28	1.19	1.36	1.25	1.09	1.13
寄居町	1.27	1.11	1.05	1.38	0.91	1.11	1.07



○ 関係機関・団体、協議会委員等

管内関係行政機関

名 称	住 所	電 話 番 号
熊谷市役所	熊谷市宮町2-47-1	048-524-1111
健康づくり課	熊谷市箱田1-2-39	048-528-0601
熊谷保健センター	熊谷市箱田1-2-39	048-526-5737
母子健康センター	熊谷市大原1-5-36	048-525-2722
深谷市役所	深谷市仲町11-1	048-571-1211
深谷市保健センター	深谷市本住町17-1	048-575-1101
寄居町役場	寄居町寄居1180-1	048-581-2121
健康づくり課	寄居町寄居1180-1	048-581-2121
熊谷警察署	熊谷市石原441-4	048-526-0110
深谷警察署	深谷市戸森88-1	048-575-0110
寄居警察署	寄居町桜沢923	048-581-0110
熊谷市消防本部	熊谷市原島675-1	048-501-0119
深谷市消防本部 (寄居町を含む)	深谷市上敷免858	048-571-0900

管内関係団体

令和7年10月1日現在

団体名	代表者	事務局及び電話番号
(一社) 熊谷市医師会	小林 敏宏	医師会事務局 熊谷市大原1-5-28 048-521-2727
(一社) 深谷寄居医師会	黒屋 信隆	医師会事務局 深谷市国済寺319-3 048-573-7724
(一社) 熊谷市歯科医師会	森 哲也	歯科医師会事務局 熊谷市本石1-11-1 048-599-2323
深谷寄居歯科医師会	大野 公義	寄居町三品232-2 大野歯科医院 048-586-1245
(一社) 熊谷薬剤師会	牛島 裕陽	熊谷市本町2-84 薬剤師会館2階 048-520-5388
深谷市薬剤師会	中里 範子	深谷市西島町3-13-14 同仁薬局 048-574-1134
寄居薬剤師会	松本 隆	寄居町用土392-2 寄居薬剤師会薬局 048-579-0980
熊谷保健所管内 食品衛生協会連合会	川田 進	熊谷保健所内 048-526-1556
同連合会 熊谷食品衛生協会	秋山 俊介	熊谷保健所内 048-523-8975
同連合会 深谷・寄居食品衛生協会	川田 進	熊谷保健所内 048-526-1556
熊谷保健所管内 熊谷地区狂犬病予防協会	坂本 雅史	熊谷市環境推進課内 (江南庁舎内) 048-536-1565
熊谷保健所管内 深谷狂犬病予防協会	細村 敦	深谷市環境衛生課内 048-578-7332
熊谷保健所管内 環境衛生協会	中村 伸寛	熊谷市万平町2-25 (カットショップ プロス) 048-526-7363
熊谷保健所管内 薬物乱用防止指導員協議会	牛島 裕陽	熊谷保健所内 048-578-4561

埼玉県北部地域医療構想調整会議委員名簿

(任期 令和6年6月1日～令和8年5月31日)

要綱	団体種別等		氏 名	団体役職名等
第3条(1)	医師会	1	小林 敏宏	熊谷市医師会 会長
		2	鈴木 和喜	本庄市児玉郡医師会 会長
		3	黒屋 信隆	深谷寄居医師会 会長
	歯科医師会	4	森 哲也	熊谷市歯科医師会 会長
		5	竹内 靖	本庄市児玉郡歯科医師会 会長
		6	大野 公義	深谷寄居歯科医師会 会長
	薬剤師会	7	牛島 裕陽	熊谷薬剤師会 会長
		8	持田 佳以子	本庄市児玉郡薬剤師会 会長
		9	中里 範子	深谷市薬剤師会 会長
第3条(2)	急性期医療機関	10	八木 伸一	埼玉慈恵病院 副院長 (熊谷市医師会)
		11	草間 芳樹	本庄総合病院 院長 (本庄市児玉郡医師会)
		12	石川 文彦	深谷赤十字病院 院長 (深谷寄居医師会)
	回復期医療機関	13	山崎 哲資	熊谷外科病院 院長 (熊谷市医師会)
		14	青木 隆志	青木病 院院長 (本庄市児玉郡医師会)
		15	佐々木 敏行	医療法人社団優慈会佐々木病院 院長 (深谷寄居医師会)
	慢性期医療機関	16	小堀 勝充	熊谷生協病院 名誉院長 (熊谷市医師会) (埼玉県病院団体協議会の推薦を兼ねる)
		17	菌部 光一	医療法人三光会そのべ病院 院長 (本庄市児玉郡医師会)
		18	黒澤 永	特定医療法人好文会あねとす病院 院長 (深谷寄居医師会)
	在宅医療機関	19	大塚 貴博	大塚医院アリーノクリニック 院長 (熊谷市医師会)
		20	富沢 峰雄	富沢医院 院長 (本庄市児玉郡医師会)
		21	青木 康弘	プラーナクリニック 院長 (深谷寄居医師会)
第3条(2)	精神科病院	22	林 文明	西熊谷病院 院長
	県立病院	23	池谷 朋彦	埼玉県立循環器・呼吸器病センター 病院長
第3条(1)	病院団体	24	清水 暢裕	医療法人啓清会関東脳神経外科病院 院長
	看護協会	25	柿澤 由紀子	深谷赤十字病院 副院長看護部長
第3条(3)	保険者協議会	26	落合 孝幸	全国健康保険協会埼玉支部 企画総務部長
第3条(4)	市町	27	松田 有子	熊谷市市民部長
		28	榎田 誠浩	本庄市保健部長
		29	清水 良保	深谷市福祉健康部長
		30	落合 秋子	美里町住民保険課長
		31	榎 豊	神川町保険健康課長
		32	亀田 真司	上里町健康保険課長
		33	木元 佑輔	寄居町健康づくり課長
第3条(6)	消防本部	34	齊藤 新一	深谷市消防本部消防長
第3条(5)	保健所	35	鈴木 勝幸	埼玉県熊谷保健所長
		36	柳澤 大輔	埼玉県本庄保健所長

(敬称略)

埼玉県北部地域保健医療協議会名簿

(任期 令和6年6月1日～令和8年5月31日)

要綱	団体種別等		氏 名	団体役職名等
第3条	医師会	1	小林 敏宏	熊谷市医師会 会長
		2	鈴木 和喜	本庄市児玉郡医師会 会長
		3	黒屋 信隆	深谷寄居医師会 会長
	歯科医師会	4	森 哲也	熊谷市歯科医師会 会長
		5	竹内 靖	本庄市児玉郡歯科医師会 会長
		6	大野 公義	深谷寄居歯科医師会 会長
	薬剤師会	7	牛島 裕陽	熊谷薬剤師会 会長
		8	持田 佳以子	本庄市児玉郡薬剤師会 会長
		9	中里 範子	深谷市薬剤師会 会長
	看護協会	10	柿澤 由紀子	深谷赤十字病院 副院長看護部長
	精神科病院	11	林 文明	西熊谷病院 院長
	県立病院	12	池谷 朋彦	埼玉県立循環器・呼吸器病センター 病院長
	病院団体	13	清水 暢裕	医療法人啓清会関東脳神経外科病院 院長
災害拠点病院及び災害時連携病院の代表者	14	石川 文彦	深谷赤十字病院 院長	
	15	今野 慎	社会医療法人熊谷総合病院 院長	
	16	今野 慎	社会医療法人熊谷総合病院 院長（熊谷市医師会）	
	17	草間 芳樹	本庄総合病院 院長（本庄市児玉郡医師会）	
	18	佐々木 敏行	医療法人社団優慈会佐々木病院 院長（深谷居医師会）	
都市医師会ごとの主要な病院の代表者	19	渡部 明子	深谷市食生活改善推進員協議会 会長	
	20	大崎 幸恵	熊谷市地域子育て支援拠点連絡会 くまつしえ副会長	
保健衛生関係者	21	落合 孝幸	全国健康保険協会埼玉支部 企画総務部長	
市町	22	松田 有子	熊谷市市民部長	
	23	榎田 肇浩	本庄市保健部長	
	24	清水 良保	深谷市福祉健康部長	
	25	落合 秋子	美里町住民保険課長	
	26	榎 豊	神川町保険健康課長	
	27	亀田 真司	上里町健康保険課長	
	28	木元 佑輔	寄居町健康づくり課長	
	29	齊藤 新一	深谷市消防本部消防長	
公募委員	30	加藤 英明	公募委員（熊谷市在住）	
保健所	31	鈴木 勝幸	埼玉県熊谷保健所長	
	32	柳澤 大輔	埼玉県本庄保健所長	

(敬称略)

熊谷保健所所管区域難病対策地域協議会 構成委員

	分類	氏名	所属・職名
1	医療	大塚 貴博	一般社団法人 熊谷市医師会 理事 (大塚医院ファミリークリニック 院長)
2	医療	小堀 勝充	一般社団法人 熊谷市医師会 理事 (熊谷生協病院 名誉院長)
3	医療	飯塚 勇	一般社団法人 深谷寄居医師会 理事 (いいづかクリニック 院長)
4	医療	青木 康弘	一般社団法人 深谷寄居医師会 理事 (プラーナクリニック 院長)
5	医療	石橋 哲	医療法人社団 INC いしばし脳神経内科クリニック 院長
6	医療	高橋 由美	熊谷生協訪問看護ステーション 管理者
7	医療	高木 勇貴	ホームズ訪問看護ステーション 管理者
8	医療	新井 悟	公益社団法人埼玉県栄養士会 北部地域事業部委員長 (特別養護老人ホーム 白砂恵慈園 管理栄養士)
9	介護	藤井 弘行	社会福祉法人埼玉慈恵会 居宅介護支援事業所 ぬくもり主任介護支援専門員(管理者)
10	患者・家族	阪爪 進一朗	管内患者代表
11	福祉	大橋 登	熊谷市福祉部 長寿いきがい課 課長
12	福祉	笠原 浩一	熊谷市福祉部 障害福祉課 課長
13	福祉	市川 幸男	深谷市福祉健康部 障害福祉課 課長
14	福祉	村岡 圭吾	深谷市福祉健康部 長寿福祉課 課長
15	福祉	町田 理嘉	寄居町福祉課 課長
16	保健	鈴木 勝幸	熊谷保健所 所長

(敬称略)

任期：令和7年10月1日～令和9年9月30日（2年間）

熊谷・深谷地区救急医療対策協議会 委員名簿

令和7年7月1日現在

	氏 名	職 名	区 分	備 考
1	小林 敏宏	熊谷市医師会会長	都市医師会代表	
2	河本 英敏	行田市医師会会長	"	
3	黒屋 信隆	深谷寄居医師会会長	"	
4	石川 文彦	深谷赤十字病院院長	第三次救急病院	
5	北 順二	(社医)熊谷総合病院院長	第二次救急病院	
6	山崎 哲資	熊谷外科病院院長	"	
7	久保 寿朗	埼玉慈恵病院院長	"	
8	清水 暢裕	(医)啓清会関東脳神経外科病院院長	"	
9	川島 治	行田中央総合病院院長	"	
10	川嶋 博	(社医)壮幸会行田総合病院理事長	"	
11	佐々木 敏行	(医)優慈会佐々木病院院長	"	
12	藤田 尚己	埼玉よりい病院院長	"	
13	新井 家光	(医)葵深谷中央病院院長	"	
14	小林 哲也	熊谷市長	市町	
15	行田 邦子	行田市長	"	
16	小島 進	深谷市長	"	
17	峯岸 克明	寄居町長	"	
18	鯨井 英明	熊谷市消防本部消防長	消防	
19	吉澤 宏	行田市消防本部消防長	"	
20	齊藤 新一	深谷市消防本部消防長	"	
21	田中 良明	加須保健所長	保健所	
22	鈴木 勝幸	熊谷保健所長	"	

任期：令和7年4月1日～令和9年3月31日

埼玉県北部保健医療圏地域災害保健医療調整会議 委員名簿

(任期 令和6年8月1日～令和8年7月31日)

分野	No.	氏名	団体役職名等	職名等	備考
医師会	1	北 順二	熊谷市医師会 理事		
	2	山下 純男	深谷寄居医師会 理事		
	3	青木 隆志	本庄市児玉郡医師会 理事		
歯科医師会	4	小川 智	一般社団法人熊谷市歯科医師会 副会長		
	5	石原 博史	本庄市児玉郡歯科医師会 副会長		
	6	大野 公義	深谷寄居歯科医師会 会長		R7.7 人事異動
薬剤師会	7	岸 稔	一般社団法人熊谷薬剤師会 理事		
	8	野村 美宏	本庄市児玉郡薬剤師会 理事		
	9	島田 雅子	深谷市薬剤師会 理事		
	10	松本 隆	寄居薬剤師会 会長		
災害拠点病院	11	柳 光昭	深谷赤十字病院 社会課長		R7.4 人事異動
災害時連携病院	12	北 順二	熊谷総合病院 院長		R7.7 人事異動
地域災害医療 コードイネー ター	13	長島 真理子	深谷赤十字病院 救急診療科嘱託医師		
	14	宮嶋 玲人	深谷赤十字病院 第二内科部長		
第2次救急医療施設	15	山崎 哲資	熊谷外科病院 院長(熊谷市医師会)		
	16	佐々木 敏行	佐々木病院 院長(深谷寄居医師会)		
	17	鈴木 和喜	鈴木外科病院 院長(本庄市児玉郡医師会)		
看護協会	18	柿澤 由紀子	深谷赤十字病院 副院長兼看護部長	埼玉県看護協会	
透析災害医療	19	逸見 憲秋	深谷赤十字病院 腎臓内科部長	地域(第5) ブロック代表	
災害時小児周産期 リエゾン	20	櫻井 伸晴	深谷赤十字病院 小児科副部長	県登録リエゾン	
精神科医療	21	渡邊 貴文	西熊谷病院 副院長		
県立病院	22	小口 賢	埼玉県立循環器・呼吸器病センター 事務局長		
消防	23	大河原 剛	熊谷市消防本部 警防課長		
	24	小暮 誠	深谷市消防本部 次長兼警防課長		
	25	久保 賢一	児玉郡市広域消防本部 次長兼警防課長		
警察	26	佐々木 忍	熊谷警察署 警備課長		R7.4 人事異動
	27	松井 淳一	本庄警察署 警備課長		
	28	松平 公一	深谷警察署 警備課長		
	29	井桁 崇	寄居警察署 警備課長		
	30	茂木 孝康	児玉警察署 警備課長		

分野	No.	氏名	団体役職名等	職名等	備考
市町	31	茂木 典夫	熊谷市市長公室危機管理課長	危機管理部門の代表	R7.4 人事異動
	32	笠木 光浩	熊谷市市民部健康づくり課 課長	保健衛生部門の代表	
	33	吉岡 進	本庄市市民生活部危機管理課 課長	危機管理部門の代表	R7.4 人事異動
	34	中村 俊夫	本庄市保健部健康推進課 課長	保健衛生部門の代表	
	35	村尾 厚彦	深谷市総務部総務防災課 課長	危機管理部門の代表	
	36	堇塚 貴光	深谷市福祉健康部 次長兼保健センター所長	保健衛生部門の代表	R7.4 人事異動
	37	齊藤 万寿彦	美里町総務課 課長	危機管理部門の代表	R7.4 人事異動
	38	落合 秋子	美里町住民保険課 課長	保健衛生部門の代表	
	39	川野 俊彦	神川町役場防災環境課 課長	危機管理部門の代表	
	40	榊 豊	神川町役場保険健康課 課長	保健衛生部門の代表	
	41	関口 博之	上里町役場くらし安全課 課長	危機管理部門の代表	
	42	亀田 真司	上里町役場健康保険課 課長	保健衛生部門の代表	
	43	藤巻 賢一	寄居町自治防災課 課長	危機管理部門の代表	
	44	木元 佑輔	寄居町健康づくり課 課長	保健衛生部門の代表	
県災害対策本部熊谷支部	45	清水 洋一郎	北部地域振興センター副所長（兼）地域防災幹（兼）地域調整幹		
県保健所	46	鈴木 勝幸	埼玉県熊谷保健所 所長		R7.4 人事異動
	47	柳澤 大輔	埼玉県本庄保健所 所長		
					R7.7更新

令和7年度熊谷保健所感染症診査協議会委員名簿

氏 名	職 種 等
岩 前 成 紀	医 師
河 津 千 絵	医 師
青 木 康 弘	医 師
高 橋 正 俊	弁護士
吉 井 恵美子	元学校長

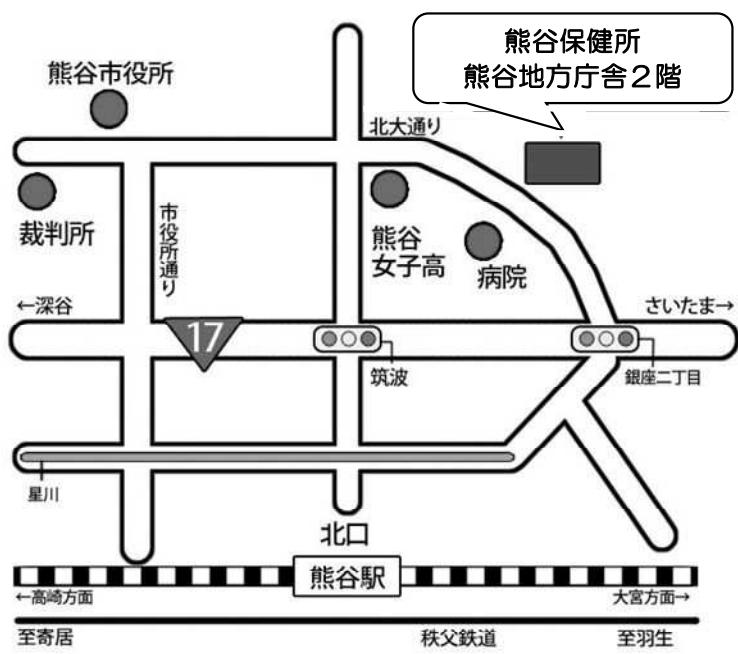
令和7年度感染症指定医療機関名

第二種感染症指定医療機関

医療機関名	住 所	電話番号
深谷赤十字病院	深谷市上柴町西 5－8－1	048－571－1511
県立循環器・呼吸器 病センター	熊谷市板井1696	048－536－9900

【保健予防推進担当】 谷健所康健相談室等の日程表

相談名	結核相談		エイズ・その他性感染症検査		感染症 診査協議会		子どもの心の健康相談		相談名 ひきこもり 専門相談
	QFT検査	即日(エイズ・梅毒)検査	通常検査	精神科医の相談	小児科医の相談	臨床心理士の相談	対象者 該当者	対象者 該当者	
対象者	患者・家族・接触者	一般	一般				幼児・児童・生徒・関係者	該当者	
予約等	予約制	予約制	予約制	予約制	結果	午後1時～	午前10時～ 12時	午前10時～ 12時	予約制 予約等
受付時間	午前10時半～ 11時(4月のみ午前9時～9時半)	午前10時半～ 11時(4月のみ午前9時～9時半)	午前9時～10時 (4月のみ午前10時～11時)	午前9時～10時 (4月のみ午前10時～11時)	午前9時～ 10時				
実施日	(1) 毎月 第2木曜日	(2) 毎月 第4火曜日	毎月 第2木曜日	毎月 第4火曜日	(1) 毎月 第2木曜日	(2) 毎月 第4火曜日	偶数月 第3水曜日	奇数月 第4金曜日	毎月 第2月曜日
4月	10	22	10	22	5/2	14	28	—	—
5月	8	27	8	27	6/6	12	26	—	14
6月	12	24	12	24	7/4	9	23	18	—
7月	10	22	10	22	8/1	14	28	—	14
8月	14	26	14	26	9/5	4※	25	20	—
9月	11	30※	11	30※	10/10	8	22	—	4
10月	9	28	9	28	11/7	6※	20※	—	8
11月	13	25	13	25	12/5	10	17※	19	—
12月	11	23	11	23	1/9	8	22	—	—
1月	8	27	8	27	2/6	5※	19※	—	23
2月	12	24	12	24	3/6	2※	16※	18	—
3月	12	24	12	24	4/3	9	23	—	9





令和7年度版事業概要

令和7年11月発行
編集発行 埼玉県熊谷保健所
熊谷市末広3丁目9番1号
TEL 048-523-2811
FAX 048-523-4486
ホームページ <http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b0711/>
Eメール k232811@pref.saitama.lg.jp



「彩の国」さいたま